

2021年度  
学修成果・学修時間・学修行動に  
関するアンケート  
結果報告

## 目次

1. 学修成果・学修時間・学修行動に関するアンケートについて	・・・	P. 3
2. アンケート実施結果（総評と集計結果）	・・・	P. 6
(1) 経済学部経済学科	・・・	P. 6
(2) 経済学部経営学科／経営学部	・・・	P.12
(3) 法学部	・・・	P.17
(4) 国際学部	・・・	P.22

1. 2021年度学修成果・学修時間・学修行動に関するアンケートについて

(1) 実施期間：2022年1月24日（月）～4月15日（金）

(2) 実施対象：全学生（1～4年生）※学年は2021年度

全学年を対象に毎年度定期的実施することで、各学年の学修成果・学修時間・学修活動を把握・可視化できるようにする（在学期間中に毎年度＝計4回以上実施する）。特に4年生については、課程全体を通じた成長実感・満足度等について測定する「卒業時アンケート」として実施した。

(3) 実施方法：WEBアンケート（ユニバーサルパスポート）／記名式で実施

4年生は卒業式での設問用紙の配付・回収を併用。

(4) 回答者数・回答率

	経済学部		経営学部	法学部	国際学部	合計
	経済学科	経営学科	経営学科	法律学科	国際学科	
1年生	203	-	183	175	150	711
2年生	187	-	175	180	152	694
3年生	133	-	143	151	101	528
4年生 留年生	181	126	-	242	137	686
合計	704	126	501	748	540	2619
2022/3/1 在籍者数	882	162	650	1077	754	3525
回答率	79.8%	77.8%	77.1%	69.5%	71.6%	74.3%

うち2021年度卒業生の回答者数・回答率

	経済学科	経営学科	法学部	国際学部	合計
卒業生	171	122	232	134	659
2021年度 卒業生数	186	140	257	159	742
回答率	91.9%	87.1%	90.3%	84.3%	88.8%

(5) アンケート設問項目

No	質問項目	選択肢
1	学籍番号・氏名	記述式
2	今年度の授業期間中の平均的な「一週間あたりの時間の使い方」について、以下のそれぞれの活動にかけている時間を選択肢から選んでください。 1. 授業時間(対面授業や遠隔授業の受講時間) 2. 授業の予習、復習(宿題や課題を行う時間を含む) 3. 資格取得のためなどの自主的な勉強 4. 課外活動・サークル活動 5. アルバイトや仕事 6. 就職に関わる活動 7. 趣味・娯楽・交友	①週0～1時間未満 ②週1～6時間未満 ③週6～11時間未満 ④週11～16時間未満 ⑤週16～21時間未満 ⑥週21～31時間未満 ⑦週31時間以上
3	「授業への参加や学修活動全般」について、どのように取り組みましたか。以下の各項目に該当する選択肢を選んでください。 1. シラバスを確認して履修登録をしている 2. 科目と科目のつながりを意識して履修登録をしている 3. 所属コースを意識して履修登録をしている(※1年生は希望するコース) 4. 授業中は、集中して取り組んでいる 5. なるべく良い成績を取るようになっている 6. 授業内でのグループワークや議論に積極的に参加するようになっている 7. 授業や学修で疑問が生じたときには、教員や友人に質問するようになっている 8. 授業や学修で疑問が生じたときには、書籍やネット検索で調べるようになっている 9. 学内の図書館や演習室等を利用して自習をしている 10. 資格取得に向けた学修をしている	①よくあった ②ある程度あった ③あまりなかった ④まったくなかった ⑤分からない

4	自身が所属する学部「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)＝“卒業にあたって身に付ける能力・資質”を知っていますか。	①知っている ②少し知っている ③知らない
5	以下の各項目について、大学入学後にどの程度身に付いたと思いますか。各項目に該当する選択肢を選んでください。【学部毎に設定】	①身に付いた ②やや身に付いた ③どちらともいえない ④あまり身に付いていない ⑤身に付いていない
経済学部 経済学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 経済学基礎、ミクロ経済学、マクロ経済学等で学ぶ経済学の基本的な知識(経済活動の仕組みや市場の機能等)</li> <li>② 経済理論・経済政策(ゲーム理論、経済成長論、財政学、金融論、経済政策論、社会政策等)に関する専門知識 ※2年生以上のみ</li> <li>③ 国際経済・地域経済・日本経済(国際経済学、世界経済論、地域経済、都市経済、日本経済論等)に関する専門知識 ※2年生以上のみ</li> <li>④ データを収集・整理し読み取る力</li> <li>⑤ 自分の知識や考えを文章で論理的に書く力</li> <li>⑥ 外国語を読み・書き・聞き・話す力(※留学生は日本語の読み・書き・聞き・話す力)</li> <li>⑦ 自分の考えを分かりやすく伝える力・プレゼンテーション力</li> <li>⑧ 幅広い知識、ものの見方</li> <li>⑨ 異なる文化や考えを持つ多様な人々を理解し尊重する姿勢</li> <li>⑩ 他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感</li> </ul>	
経営学部・ 経済学部 経営学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 経営学(経営管理、経営戦略、経営組織等)に関する専門知識</li> <li>② 商学(マーケティング、製品開発等)に関する専門知識</li> <li>③ 会計学(簿記、財務会計、管理会計等)に関する専門知識</li> <li>④ 経営に関する事象を分析し、課題を発見して、課題を解決できる力</li> <li>⑤ データを収集・整理し読み取る力</li> <li>⑥ 自分の知識や考えを文章で論理的に書く力</li> <li>⑦ 外国語を読み・書き・聞き・話す力(※留学生は日本語の読み・書き・聞き・話す力)</li> <li>⑧ 自分の考えを分かりやすく伝える力・プレゼンテーション力</li> <li>⑨ 幅広い知識、ものの見方</li> <li>⑩ 異なる文化や考えを持つ多様な人々を理解し尊重する姿勢</li> <li>⑪ 人と協力・協働しながら物事を進める力</li> <li>⑫ 自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる力</li> <li>⑬ 自分が持つ知識を使って、新しいもの・価値をつくり出す力</li> </ul>	
法学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 法学に関する基本的な専門知識</li> <li>② 政治学に関する基本的な専門知識</li> <li>③ さまざまな関係で発生する課題を発見し、理解する力</li> <li>④ 課題を分析し、その解決方法を考える力</li> <li>⑤ 他者と協調・協働できる力</li> <li>⑥ ものごとを論理的に考える力</li> <li>⑦ データを収集・整理し読み取る力</li> <li>⑧ 自分の知識や考えを文章で論理的に書く力</li> <li>⑨ 外国語を読み・書き・聞き・話す力(※留学生は日本語の読み・書き・聞き・話す力)</li> <li>⑩ 自分の考えを分かりやすく伝える力・プレゼンテーション力</li> <li>⑪ 幅広い知識、ものの見方</li> <li>⑫ 異なる文化や考えを持つ多様な人々を理解し尊重する姿勢</li> <li>⑬ 地域や社会に貢献する意識</li> </ul>	

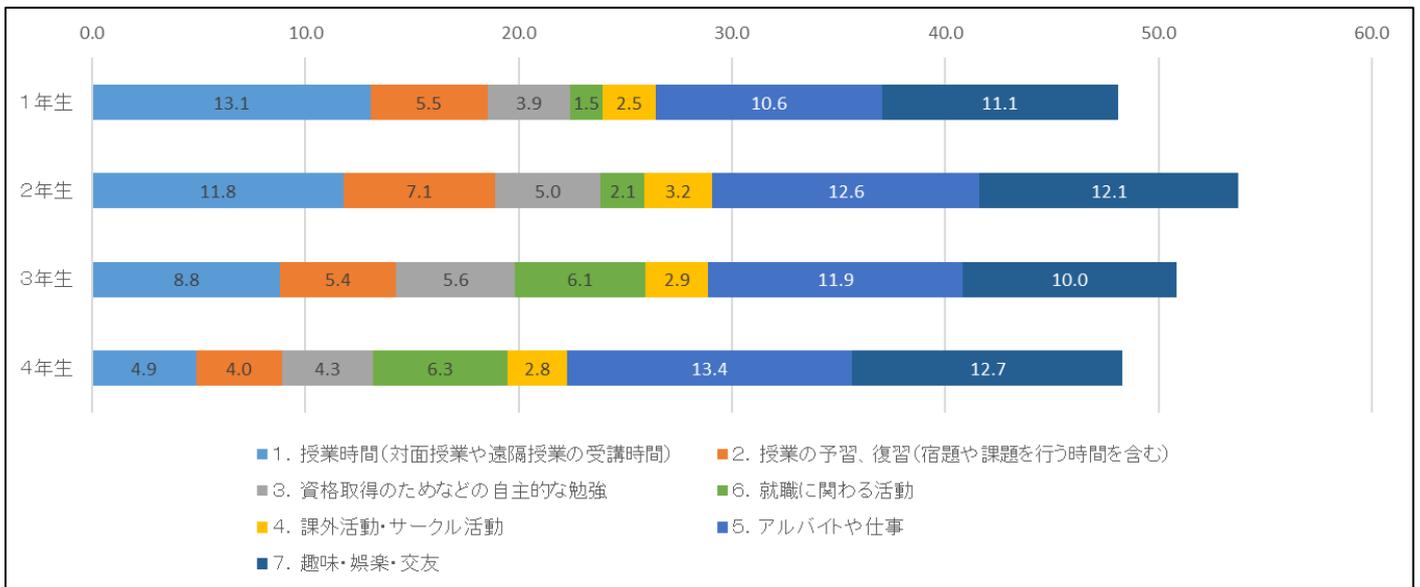
	国際学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本や世界で起きている諸問題に関する理解と関心</li> <li>② 法政治・文化(国際法、国際政治、国際文化等)に関する専門知識</li> <li>③ 経済・経営(日本経済および世界経済、国際ビジネス等)に関する専門知識</li> <li>④ 歴史・社会(日本史や世界史、多文化共生社会論等)に関する専門知識</li> <li>⑤ コミュニケーション・情報(コミュニケーション論、情報セキュリティ等)に関する専門知識</li> <li>⑥ 英語運用能力(英語で読む・書く・聞く・話す力)</li> <li>⑦ 日本語運用能力(日本語で読む・書く・聞く・話す力)※留学生のみ回答</li> <li>⑧ データを収集・整理し読み取る力</li> <li>⑨ 自分の知識や考えを文章で論理的に書く力</li> <li>⑩ 自分の考えを分かりやすく伝える力・プレゼンテーション力</li> <li>⑪ 幅広い知識、ものの見方</li> <li>⑫ 出身地域や言語、性別、年代などから自分と異なる考え方や視点(異文化)に対する理解および多文化となる現代社会についての理解</li> <li>⑬ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働しながら主体的に判断し、行動する力</li> </ul>	
6	入学してからこれまでの自身の学修成果について、満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①満足している</li> <li>②ある程度満足している</li> <li>③あまり満足していない</li> <li>④満足していない</li> </ul>	
7	入学してからこれまで、自身が最も成長したと思うことは何ですか。自由に記入してください。	自由記述	

#### 4. アンケート結果（総評と集計結果）

##### （1）経済学部経済学科

Q1. 今年度の授業期間中の平均的な「一週間あたりの時間の使い方」について、以下のそれぞれの活動にかけている時間を選択肢から選んでください。

①～⑥には各時間帯の中間値、⑦には31を当てはめ、平均値を算出して下のグラフを作成した。

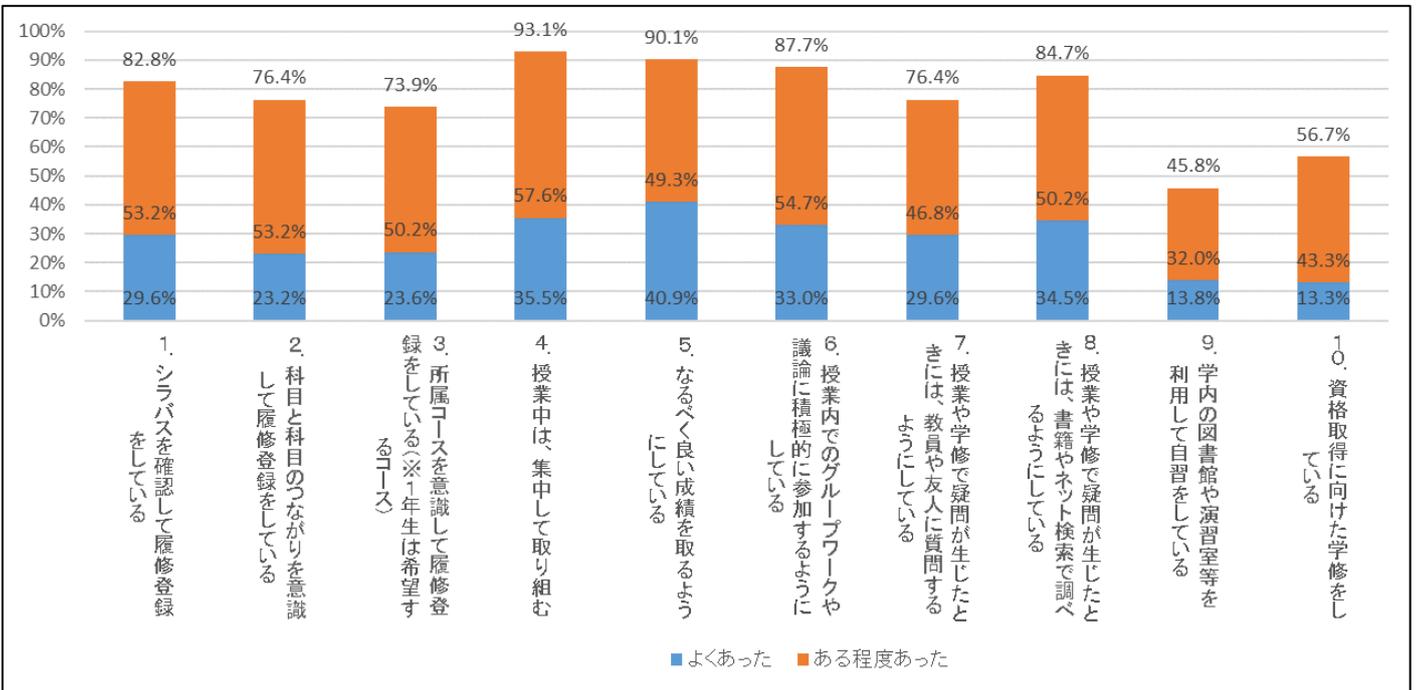


- 授業、予習・復習、自主的な勉強を合わせた学修時間の合計は、1年生で22.4時間、2年生で23.8時間、3年生で19.8時間、4年生で13.2時間となっている。
- 予習・復習時間は2年生が最も長く、資格取得のための自主的な学修時間は3年生が最も長い。
- 4年生の就職活動の時間は3年生と大きく変わらず、4学部で最も短い。

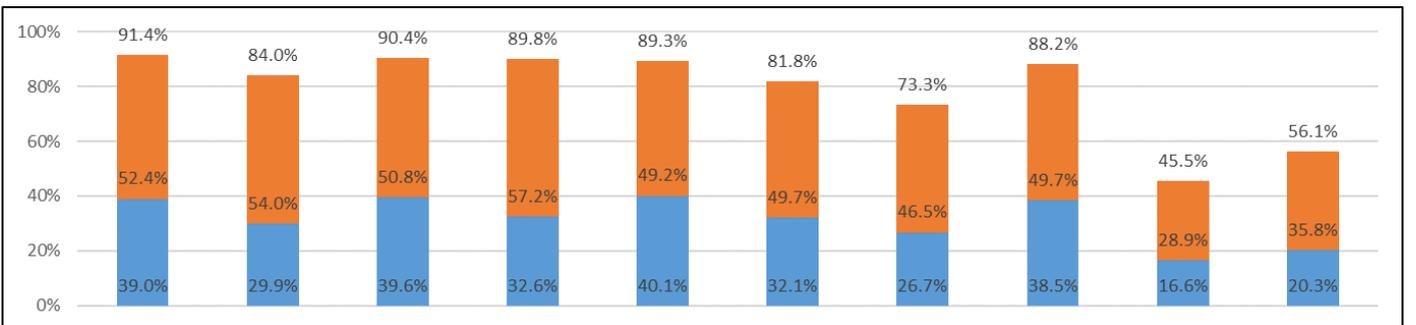
Q2. 「授業への参加や学修活動全般」について、どのように取り組みましたか。以下の各項目に該当する選択肢を選んでください。

各項目について「①よくあった」「②ある程度あった」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

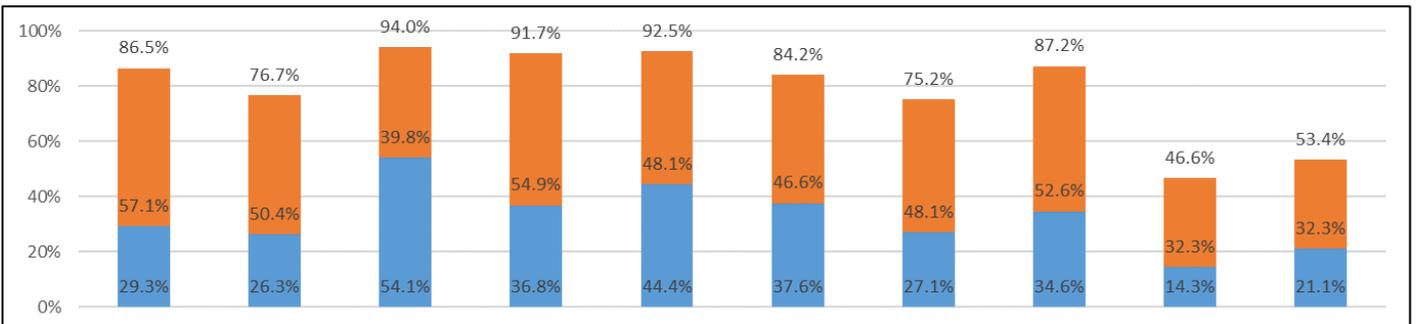
1年生



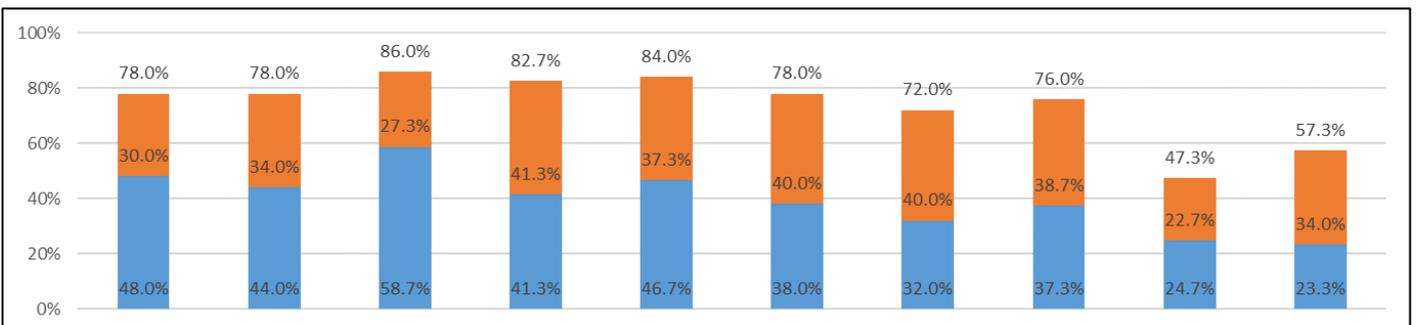
2年生



3年生



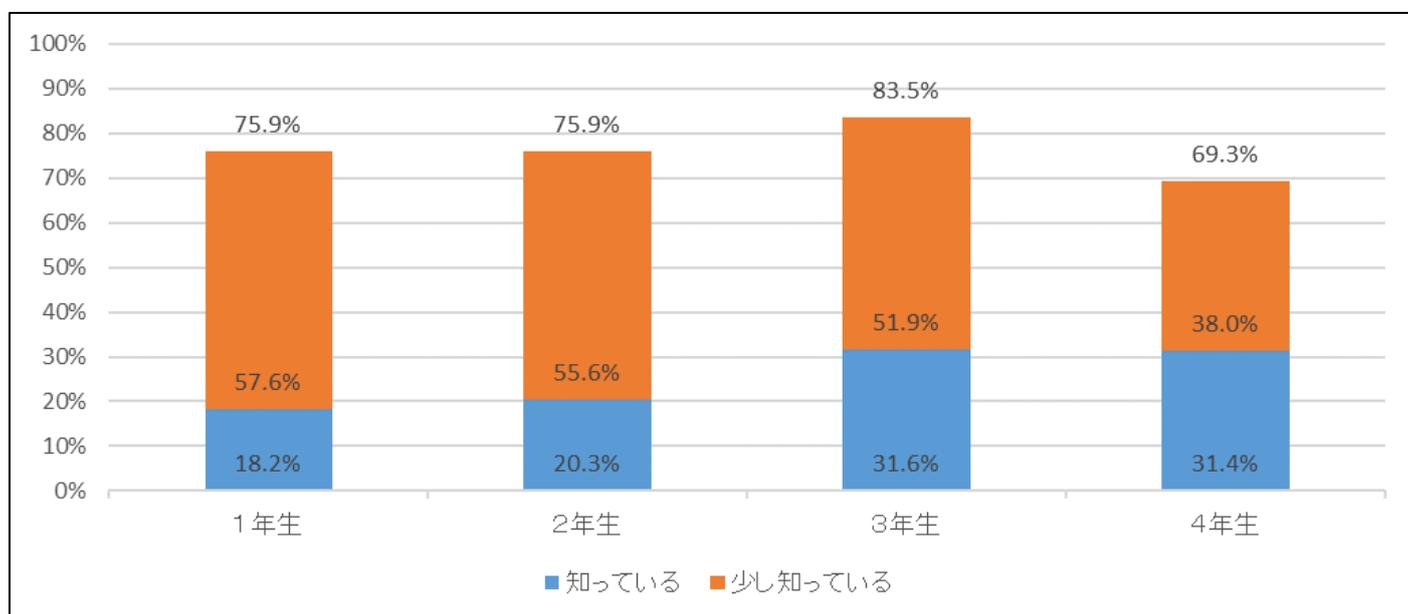
4年生



- 回答者のうち、「シラバスを確認して履修登録をしている」と回答した者の割合は、1～3年生でいずれも80%を超え、中でも2年生が91.4%と最も高い。
- 「科目と科目のつながりを意識して履修登録をしている」と回答した者の割合についても2年生が最も高く、科目の位置付けや順次性を意識した履修指導の成果が見られる。
- 「所属コースを意識して履修登録をしている」と回答した学生は3年生の回答者のうち94.0%となり、「よかった」を選択した者は3年生以上で半数以上となっている。

Q3. 自身が所属する学部の「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー) = “卒業にあたって身に付ける能力・資質”を知っていますか。

「①知っている」「②少し知っている」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。



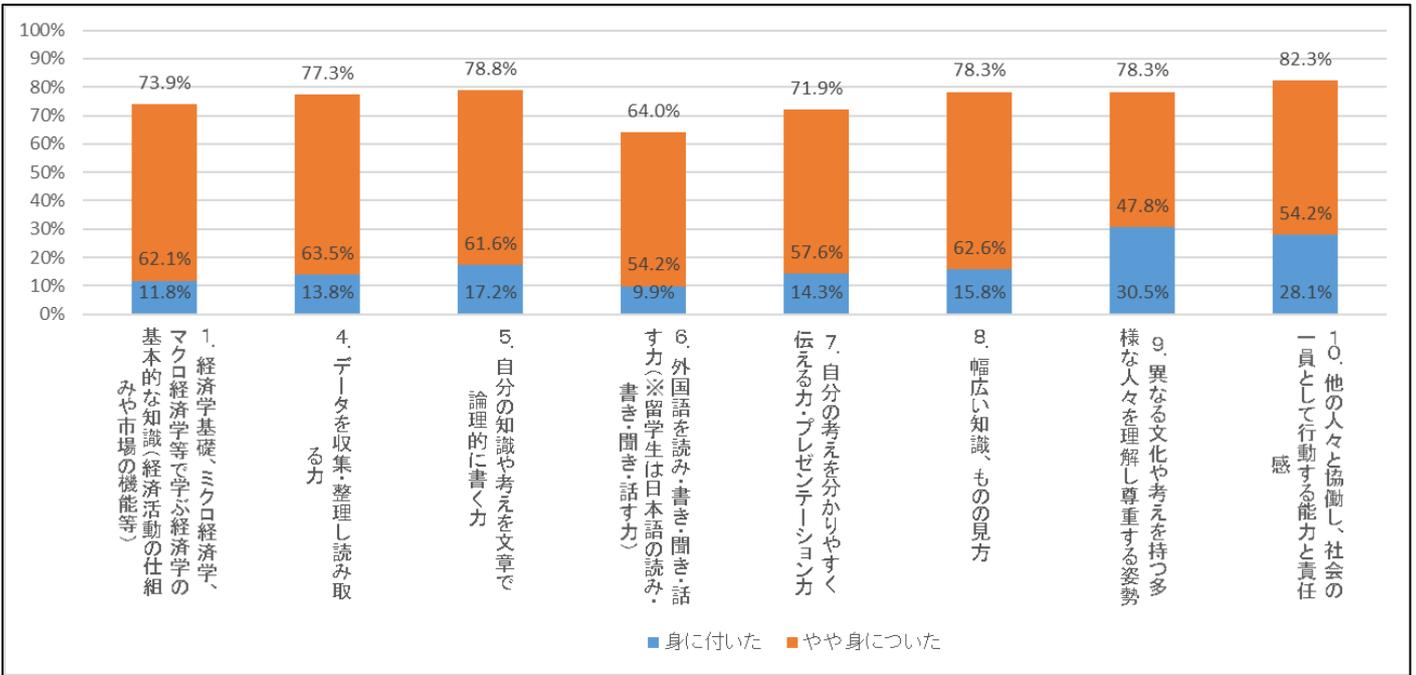
- 所属学部学科のDPを知っていると回答した者の割合は、3年生が最も高く、回答者の83.5%であった。これは他学部と比較しても最も高い値である。

Q4. 以下の各項目について、大学入学後にどの程度身に付いたと思いますか。各項目に該当する選択肢を選んでください。

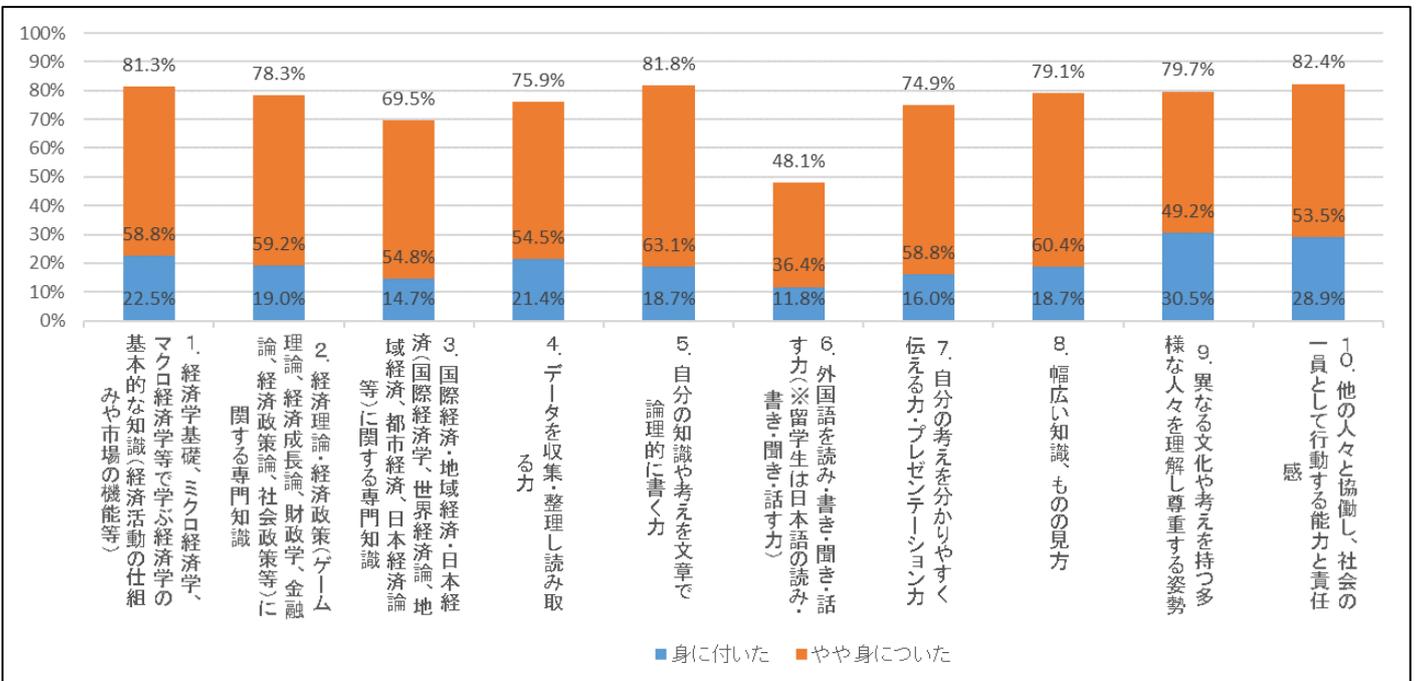
各項目について「①身に付いた」「②やや身に付いた」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

※項目2及び3は2年生以上のみ対象の項目

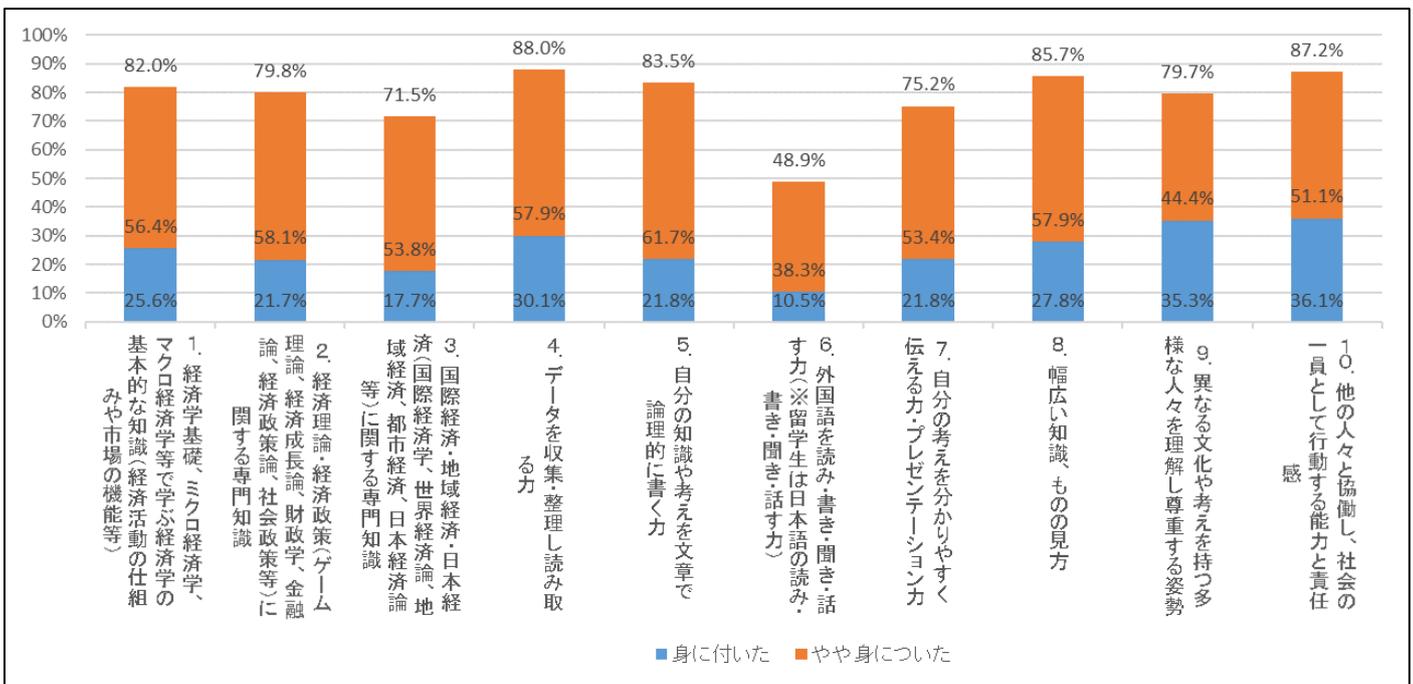
### 1年生



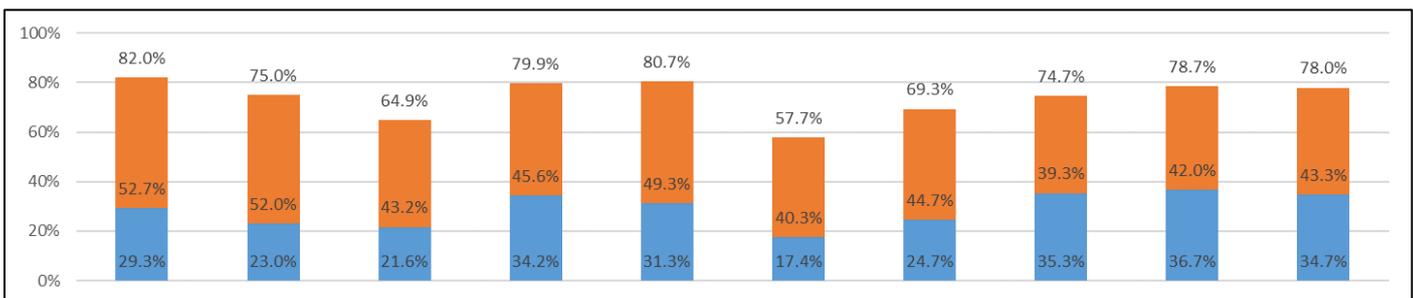
### 2年生



### 3 年生



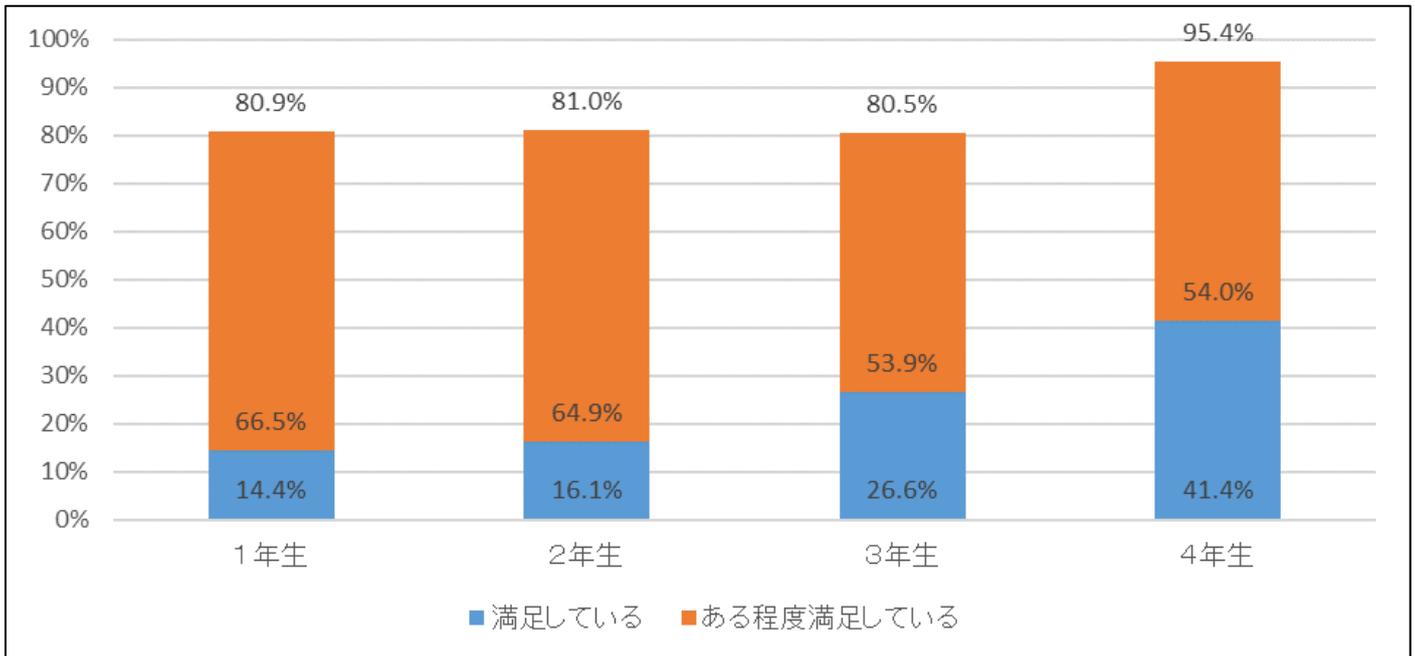
### 4 年生



- 1 年生、2 年生ともに最も高い項目は「他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感」となった。
- 3 年生で最も高い項目は「データを収集・整理し読み取る力」の 88.0%となった。
- 4 年生は、「身に付いた」「やや身に付いた」の合計では 3 年生と比較して低い項目も見られるが、「身に付いた」と回答した者の割合のみで見れば、ほぼ全ての項目で 3 年生を上回っている。
- 「経済学基礎、ミクロ経済学、マクロ経済学等で学ぶ経済学の基本的な知識」は 4 年生の回答者の 82.0%が身に付いたと回答した。「経済理論・経済政策に関する専門知識」は 4 年生の回答者の 75.0%、「国際経済・地域経済・日本経済に関する専門知識」は 4 年生の回答者の 64.9%が身に付いたと回答した。

Q5. 入学してからこれまでの自身の学修成果について、満足していますか。

「①満足している」「②ある程度満足している」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

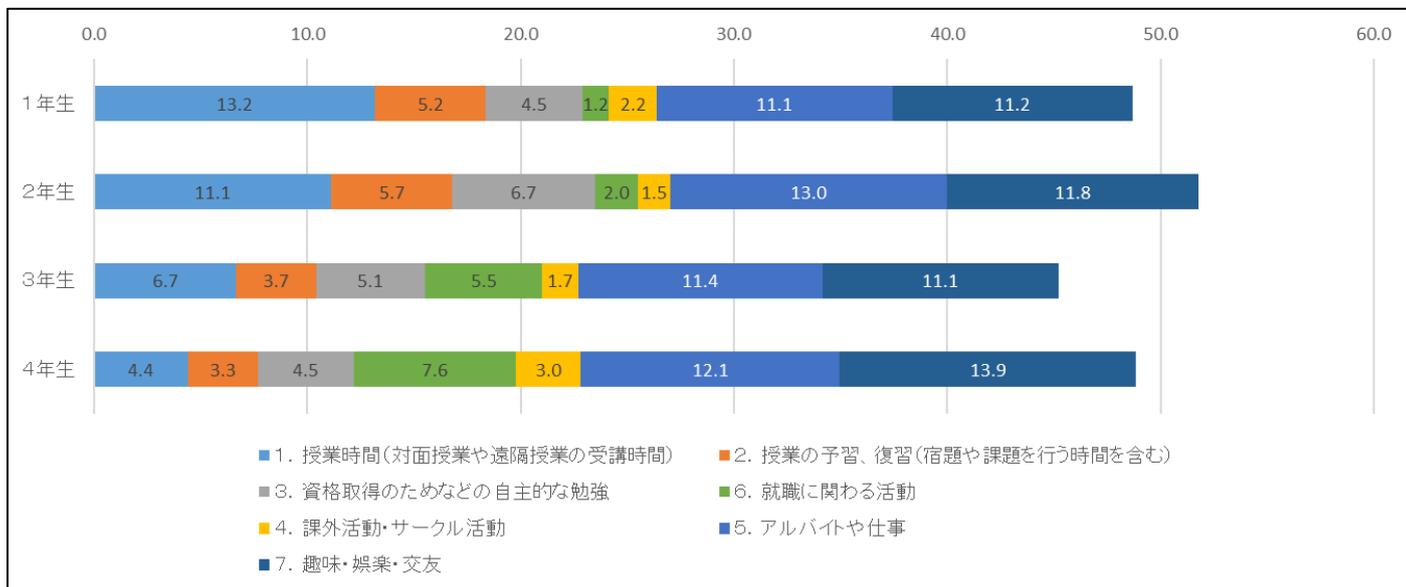


●自身の学修成果に満足している学生は、1年生で80%を超え、4年生では95.4%となった。

(2) 経営学部（1～3年生）／経済学部経営学科（4年生）

Q1. 今年度の授業期間中の平均的な「一週間あたりの時間の使い方」について、以下のそれぞれの活動にかけている時間を選択肢から選んでください。

①～⑥には各時間帯の中間値、⑦には31を当てはめ、平均値を算出して下のグラフを作成した。

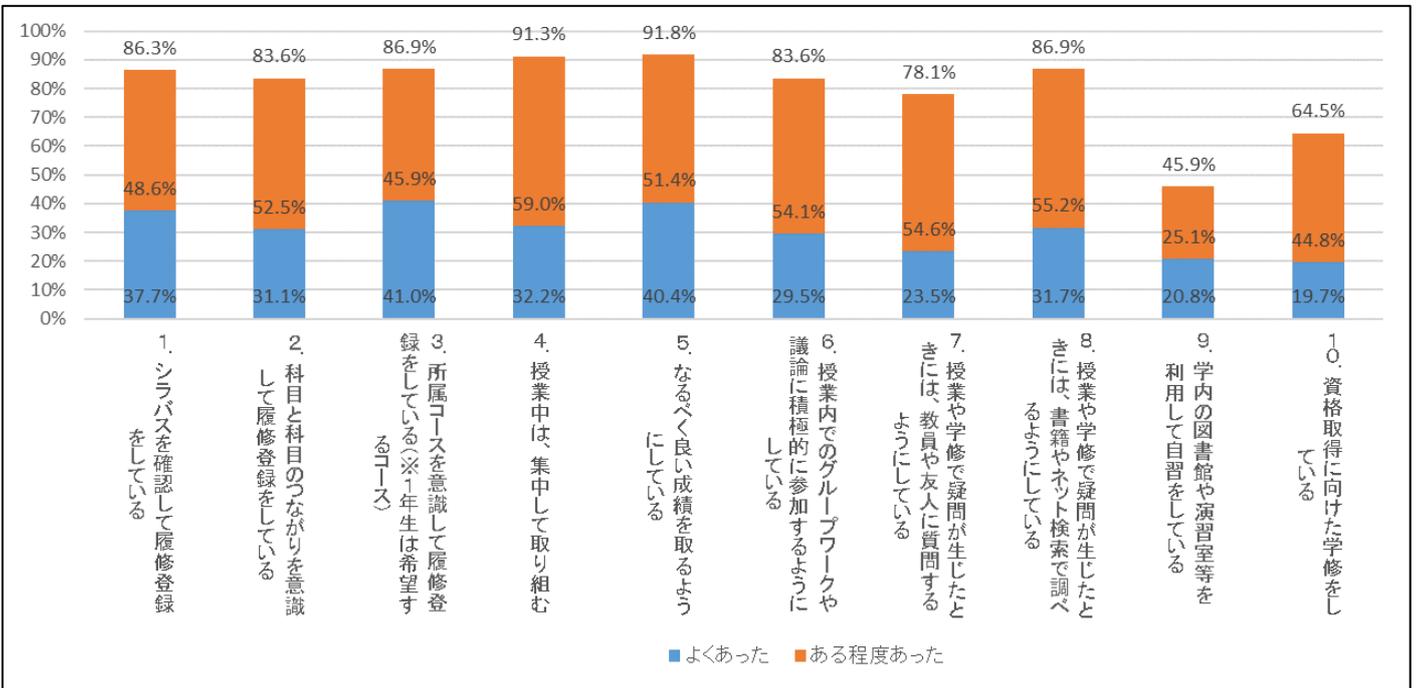


- 授業、予習・復習、自主的な勉強を合わせた学修時間の合計は、1年生で22.9時間、2年生で23.5時間、3年生で15.5時間、4年生で12.2時間となっている。
- 予習・復習時間、資格取得のための自主的な学修時間ともに、2年生が最も長い。2年生としては、4学部で最も長い。
- 3年生の就職活動の時間は5.5時間となっており、3年生としては4学部で最も短い。

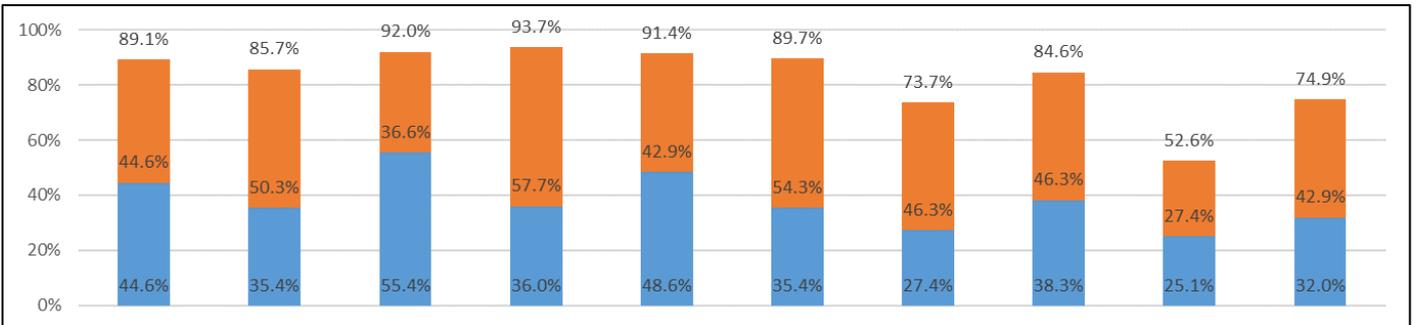
Q2. 「授業への参加や学修活動全般」について、どのように取り組みましたか。以下の各項目に該当する選択肢を選んでください。

各項目について「①よくあった」「②ある程度あった」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

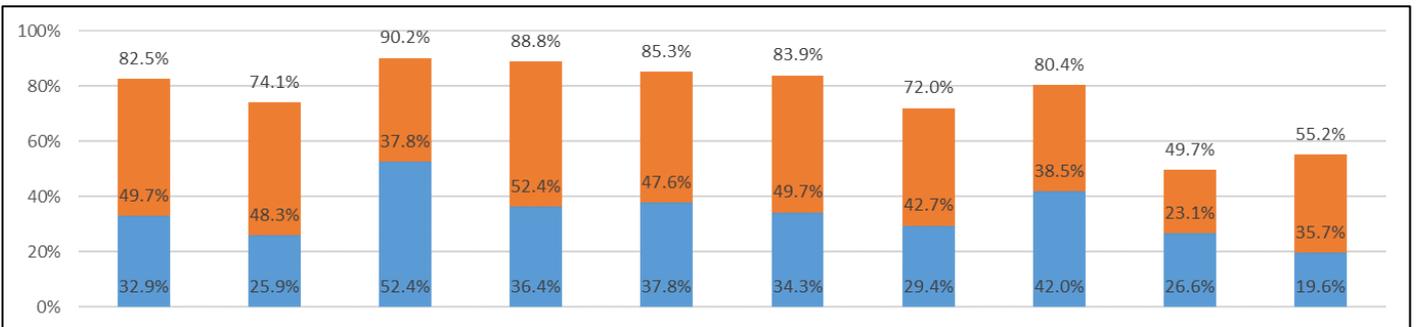
1年生



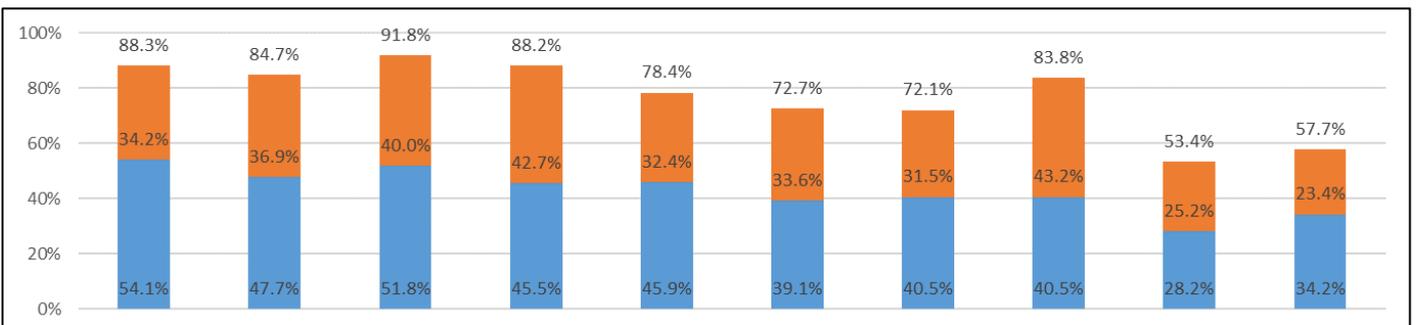
2年生



3年生



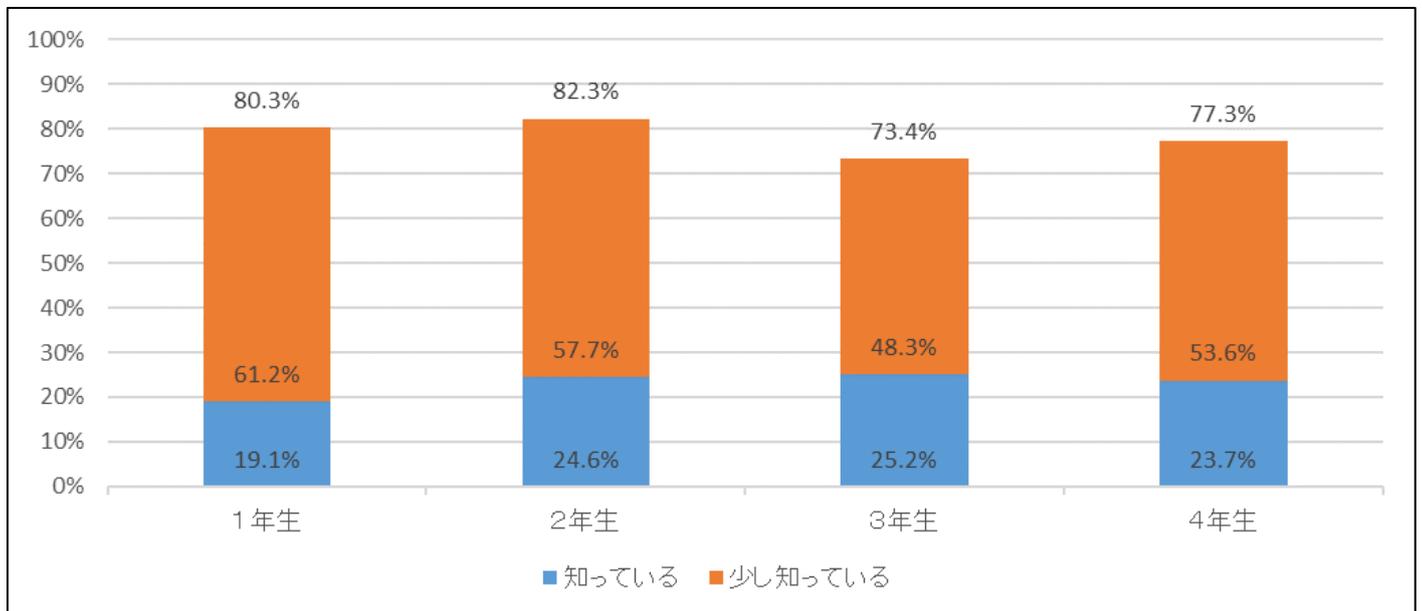
4年生



- 回答者のうち、「シラバスを確認して履修登録をしている」と回答した者の割合は、全学年でいずれも 80% を超え、中でも 2 年生が 89.1% と最も高い。
- 「科目と科目のつながりを意識して履修登録をしている」と回答した者の割合についても 2 年生が最も高く、科目の位置付けや順次性を意識した履修指導の成果が見られる。
- 「所属コースを意識して履修登録をしている」と回答した学生は 2 年生の回答者のうち 92.0%、3 年生の回答者のうち 90.2% となり、「よくあった」を選択した者は 2~4 年生で半数以上となっている。

Q3. 自身が所属する学部の「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー) = “卒業にあたって身に付ける能力・資質” を知っていますか。

「①知っている」「②少し知っている」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

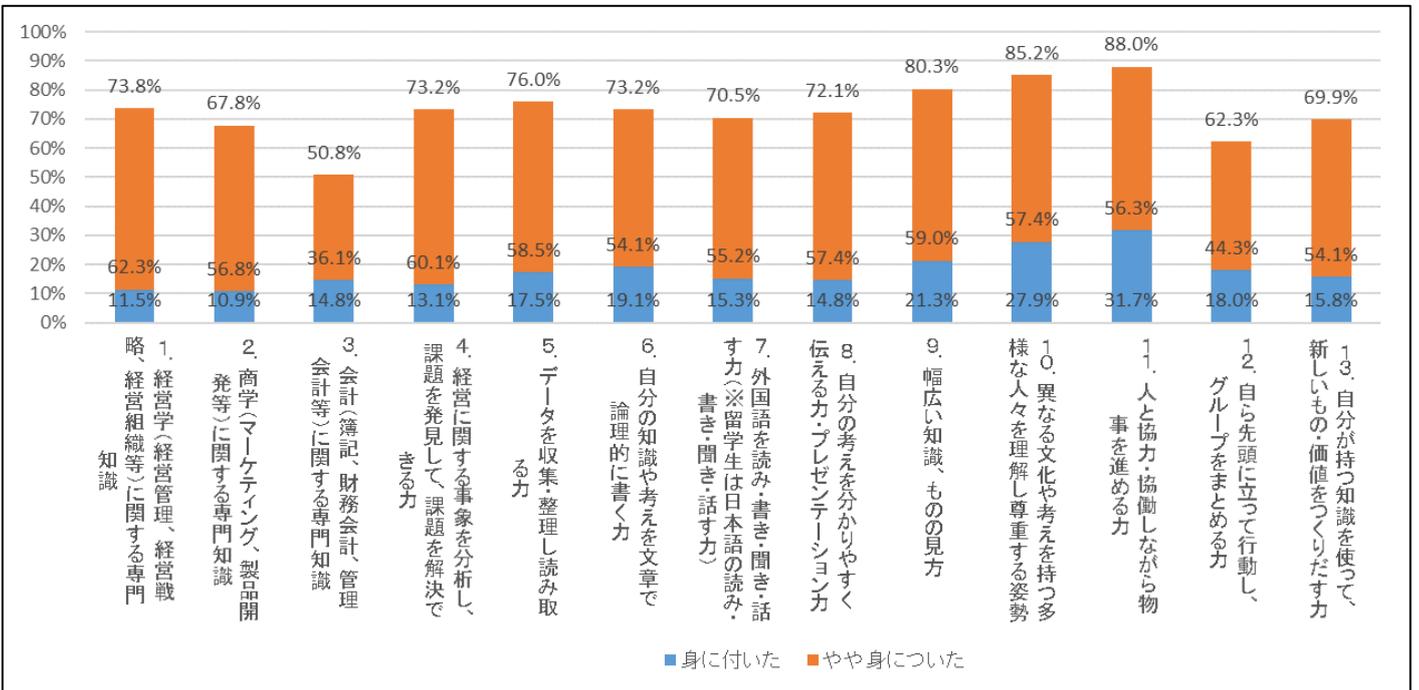


- 所属学部学科の DP を知っていると回答した者の割合は、2 年生が最も高く、回答者の 82.3% であった。

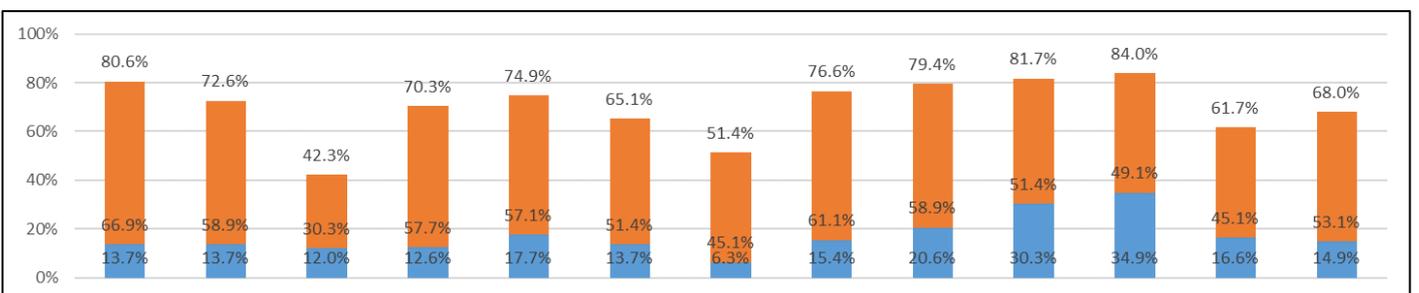
Q4. 以下の各項目について、大学入学後にどの程度身に付いたと思いますか。各項目に該当する選択肢を選んでください。

各項目について「①身に付いた」「②やや身に付いた」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

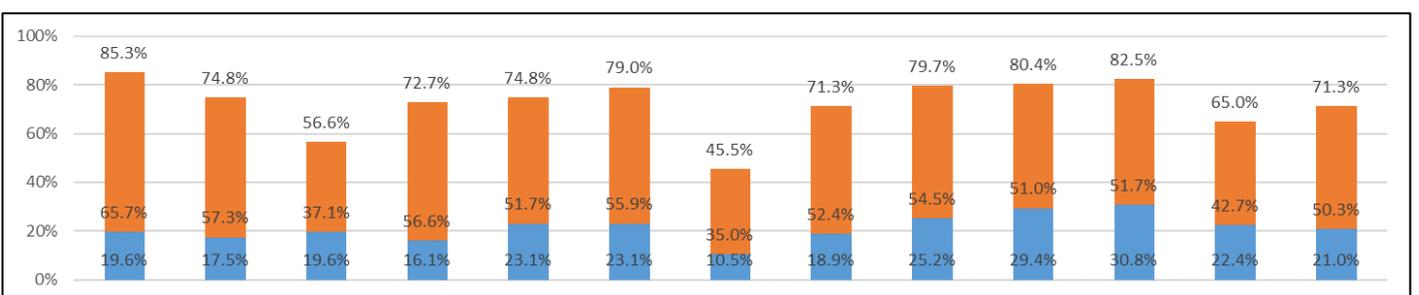
1年生



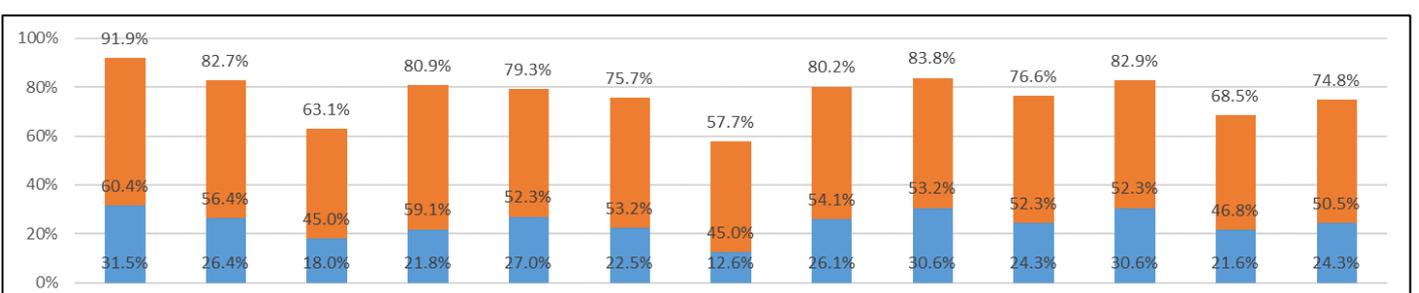
2年生



3年生



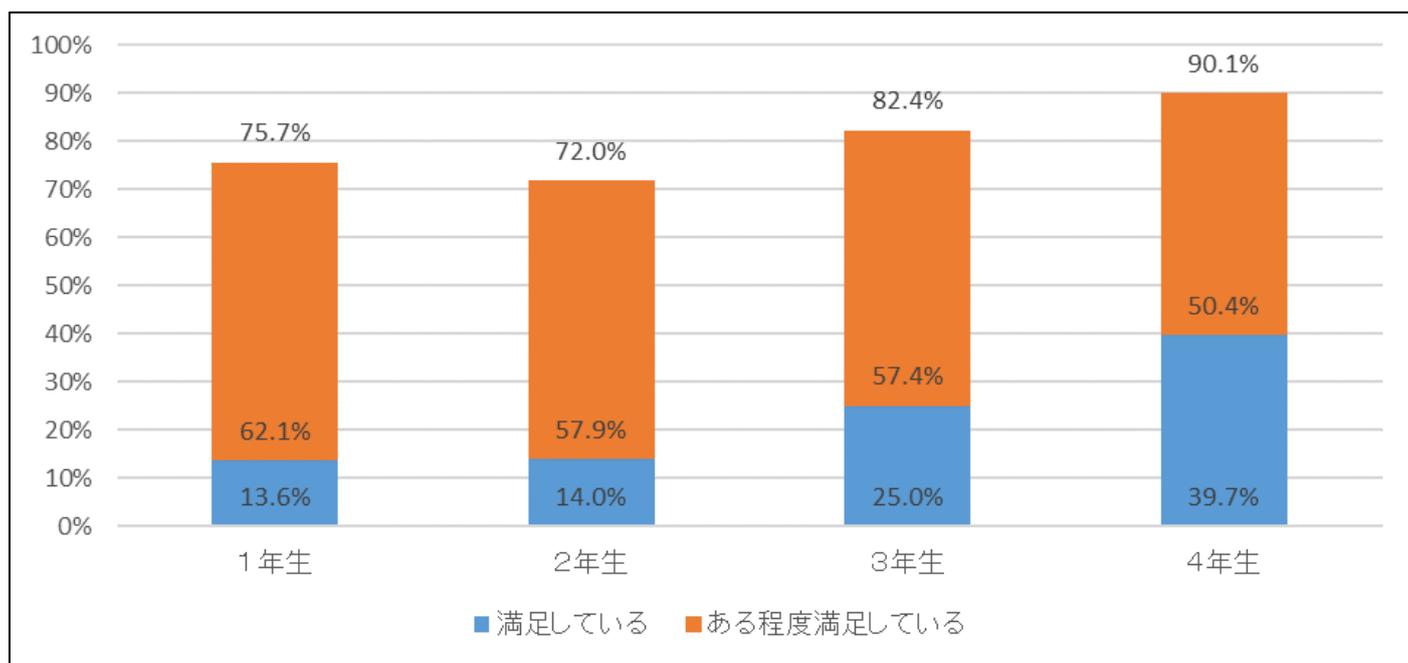
4年生



- 1年生、2年生で最も高い項目は「人と協力・協働しながら物事を進める力」となった。
- 3年生、4年生で最も高い項目は「経営学（経営管理、経営戦略、経営組織等）に関する専門知識」となった。
- 経営学科4年生は13項目中6項目で「身に付いた」「やや身に付いた」の合計が80%を超えている。

Q5. 入学してからこれまでの自身の学修成果について、満足していますか。

「①満足している」「②ある程度満足している」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

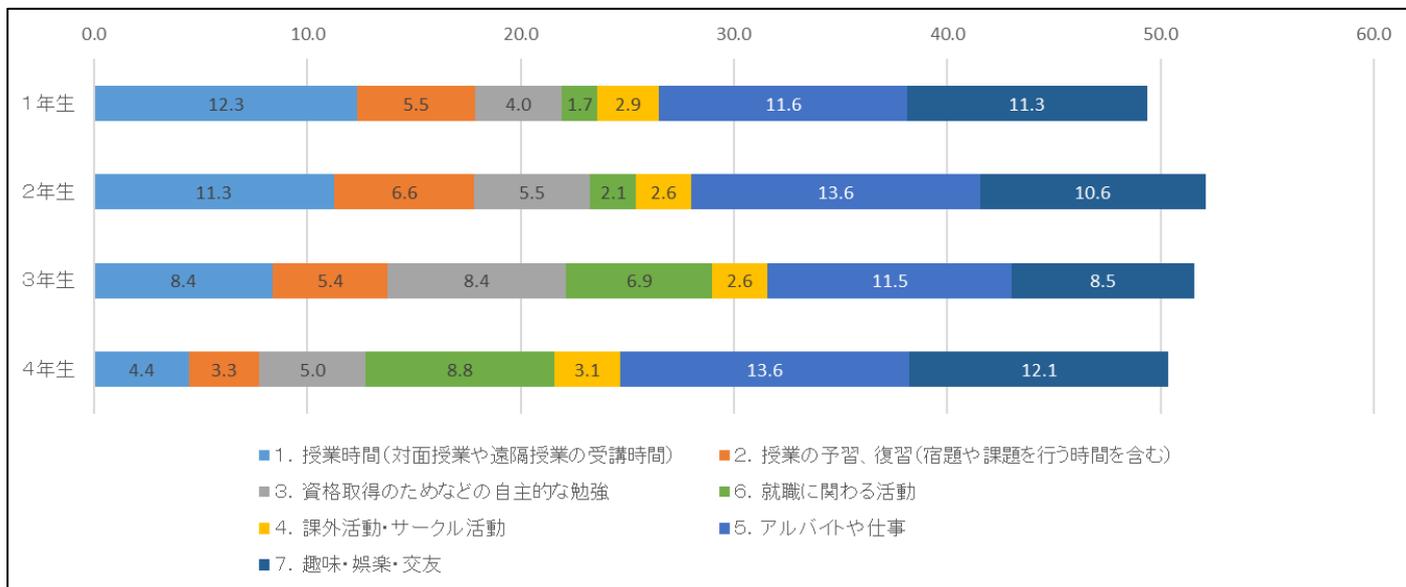


- 自身の学修成果に満足している学生は、4年生では90.1%となった。

### (3) 法学部

Q1. 今年度の授業期間中の平均的な「一週間あたりの時間の使い方」について、以下のそれぞれの活動にかけている時間を選択肢から選んでください。

①～⑥には各時間帯の中間値、⑦には31を当てはめ、平均値を算出して下のグラフを作成した。

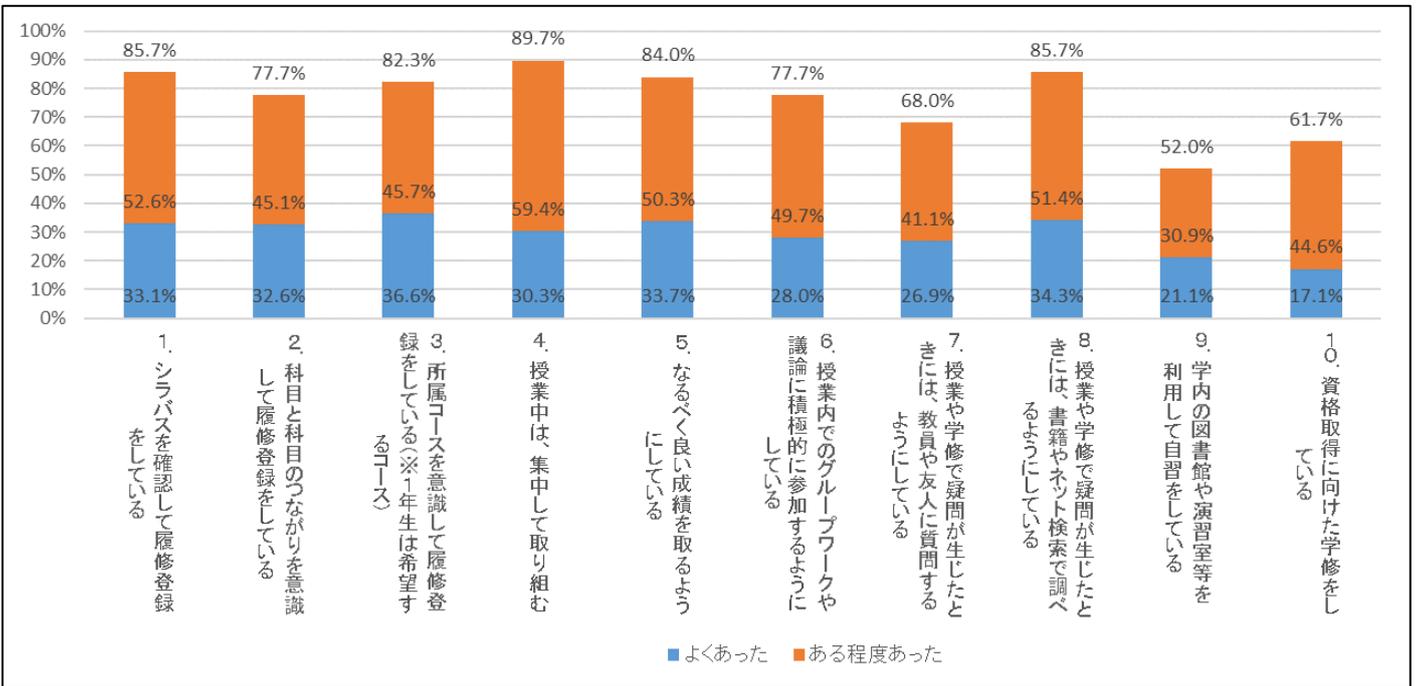


- 授業、予習・復習、自主的な勉強を合わせた学修時間の合計は、1年生で21.9時間、2年生で23.3時間、3年生で22.1時間、4年生で12.8時間となっている。
- 予習・復習時間の時間は2年生が最も長く、資格取得のための自主的な学修時間は3年生が最も長い。3年生の自主学修時間は、全学部全学年を通じて最も長い。
- 3年生の就職活動の時間は6.9時間、4年生は8.8時間となっており、ともに4学部で最も長い。

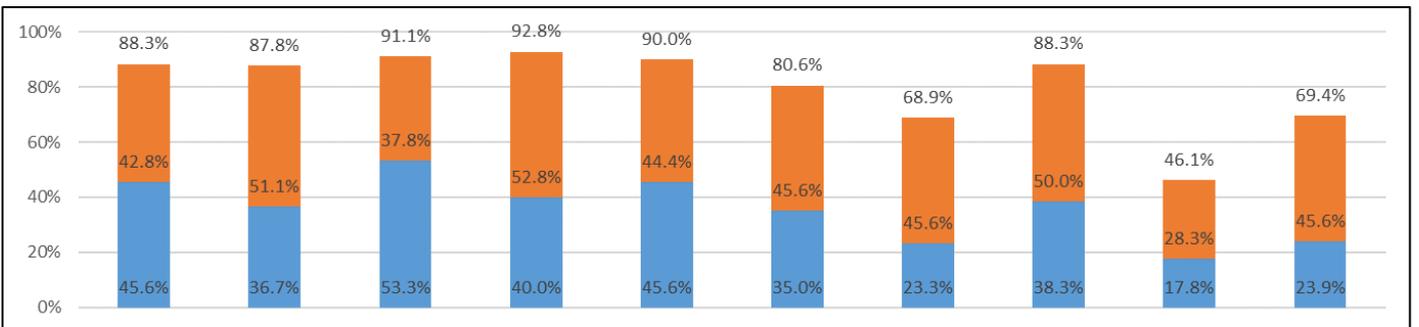
Q2. 「授業への参加や学修活動全般」について、どのように取り組みましたか。以下の各項目に該当する選択肢を選んでください。

各項目について「①よくあった」「②ある程度あった」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

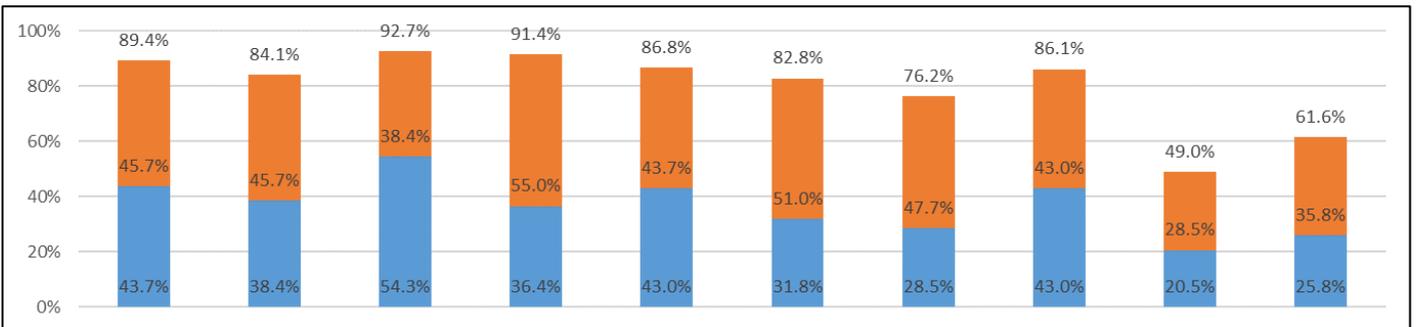
1年生



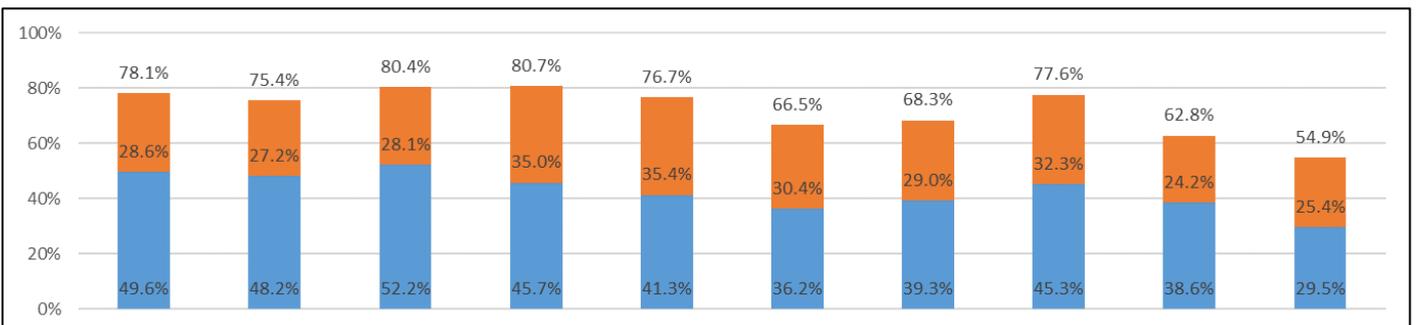
2年生



3年生



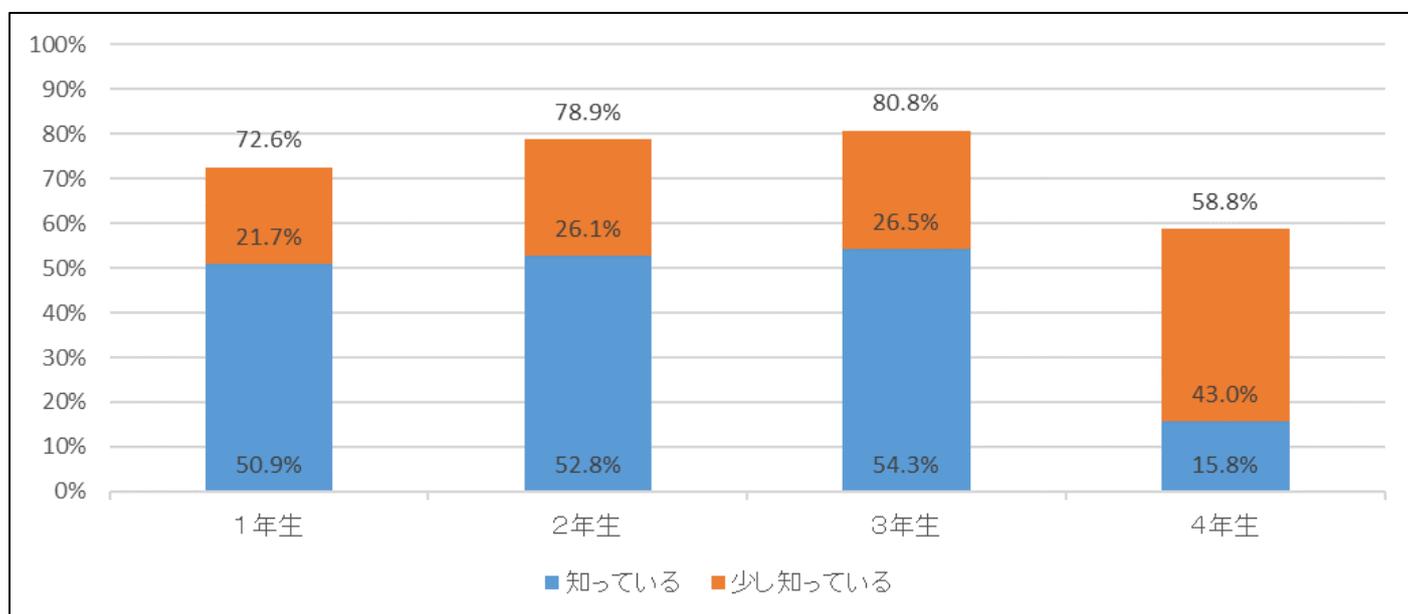
4年生



- 回答者のうち、「シラバスを確認して履修登録をしている」と回答した者の割合は、1～3 年生で 80%を超え、中でも 3 年生が 89.4%と最も高い。
- 「科目と科目のつながりを意識して履修登録をしている」と回答した者の割合については 2 年生が最も高く、87.8%となった。
- 「所属コースを意識して履修登録をしている」と回答した学生は 2 年生の回答者のうち 91.1%、3 年生の回答者のうち 92.7%となり、「よくあった」を選択した者は 2～4 年生で半数以上となっている。
- 「学内の図書館や演習室等を利用して自習をしている」は 4 年生で 62.8%となり、4 学部で最も高い。

Q3. 自身が所属する学部の「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー) = “卒業にあたって身に付ける能力・資質”を知っていますか。

「①知っている」「②少し知っている」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

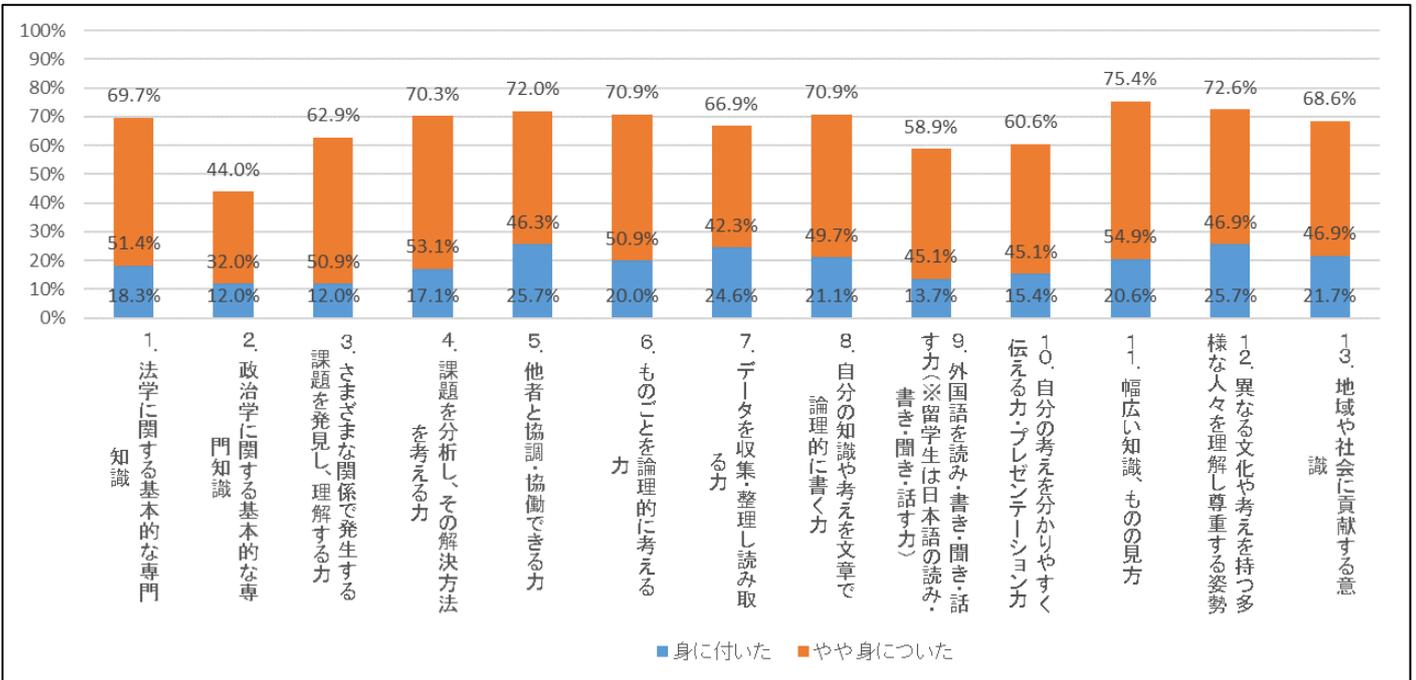


- 所属学部学科の DP を知っているとは回答した者の割合は、3 年生が最も高く、回答者の 80.8%であった。
- 4 年生の割合は 58.8%で、最も低い。

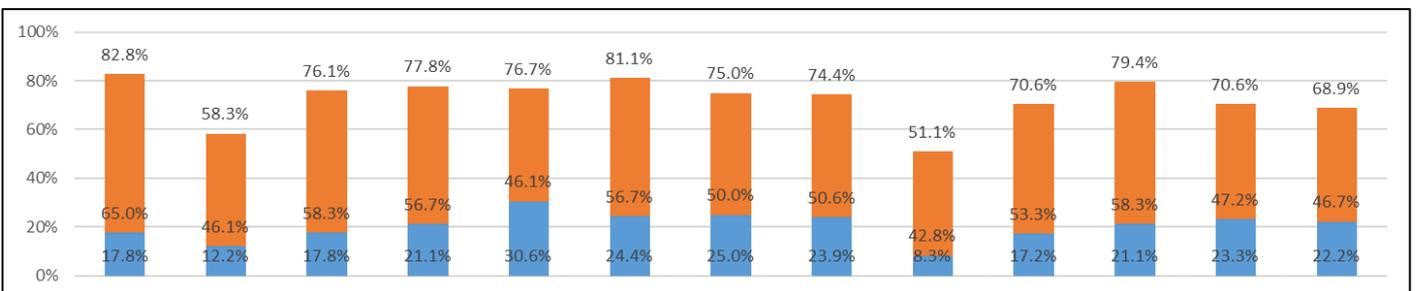
Q4. 以下の各項目について、大学入学後にどの程度身に付いたと思いますか。各項目に該当する選択肢を選んでください。

各項目について「①身に付いた」「②やや身に付いた」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

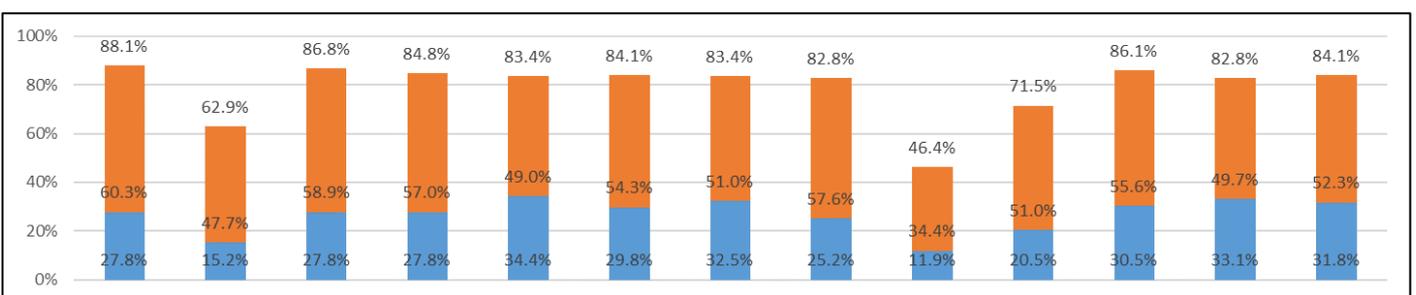
1年生



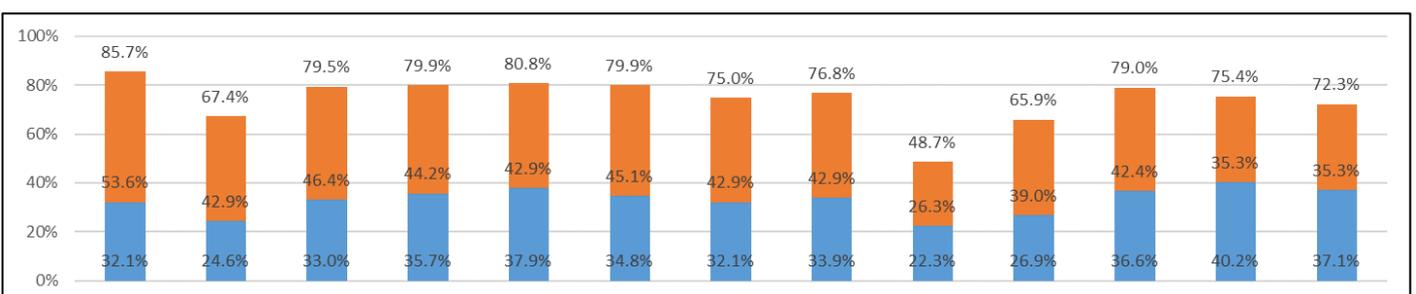
2年生



3年生



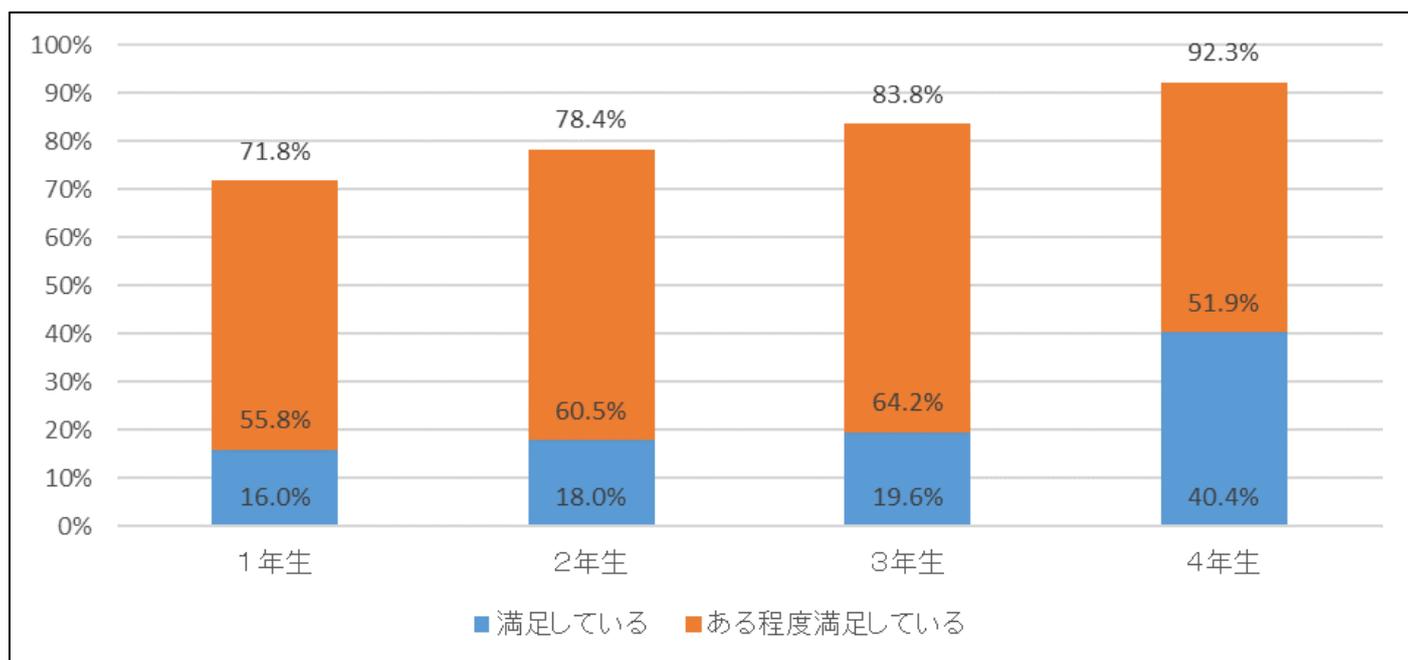
4年生



- 1年生で最も高い項目は「幅広い知識、ものの見方」となった。
- 2～4年生で最も高い項目は「法学に関する基本的な専門知識」となった。
- 3年生は13項目中10項目で「身に付いた」「やや身に付いた」の合計が80%を超えている。

Q5. 入学してからこれまでの自身の学修成果について、満足していますか。

「①満足している」「②ある程度満足している」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

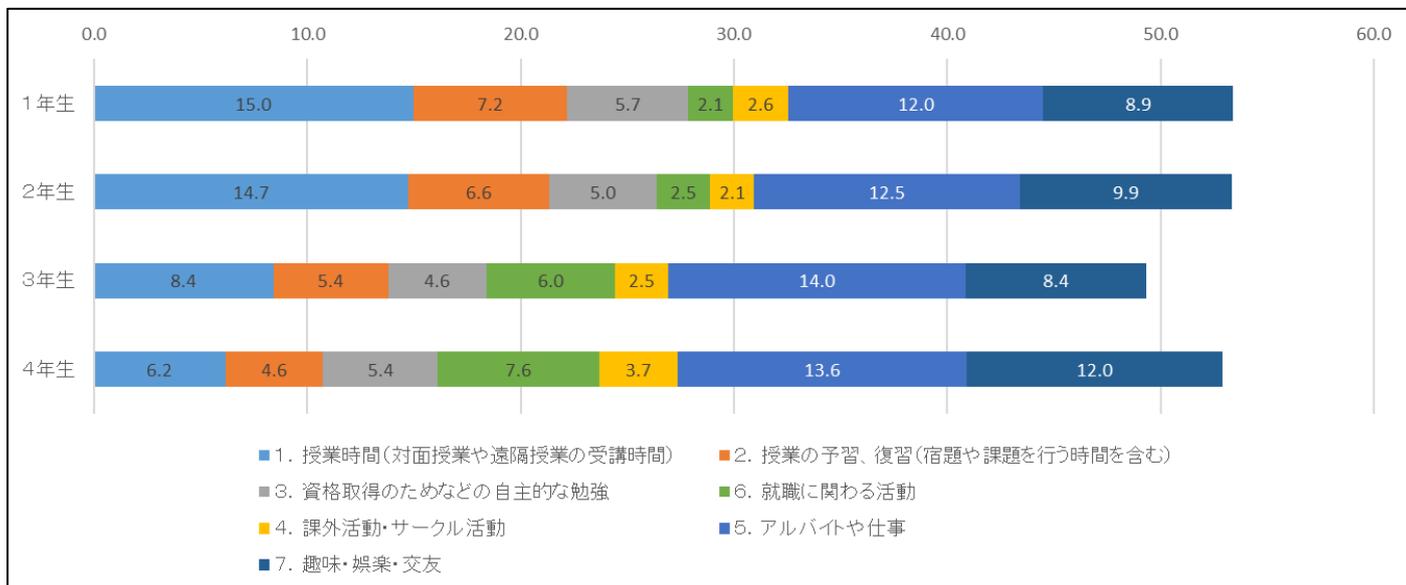


- 自身の学修成果に満足している学生は、4年生では92.3%となった。

#### (4) 国際学部

Q1. 今年度の授業期間中の平均的な「一週間あたりの時間の使い方」について、以下のそれぞれの活動にかけている時間を選択肢から選んでください。

①～⑥には各時間帯の中間値、⑦には31を当てはめ、平均値を算出して下のグラフを作成した。



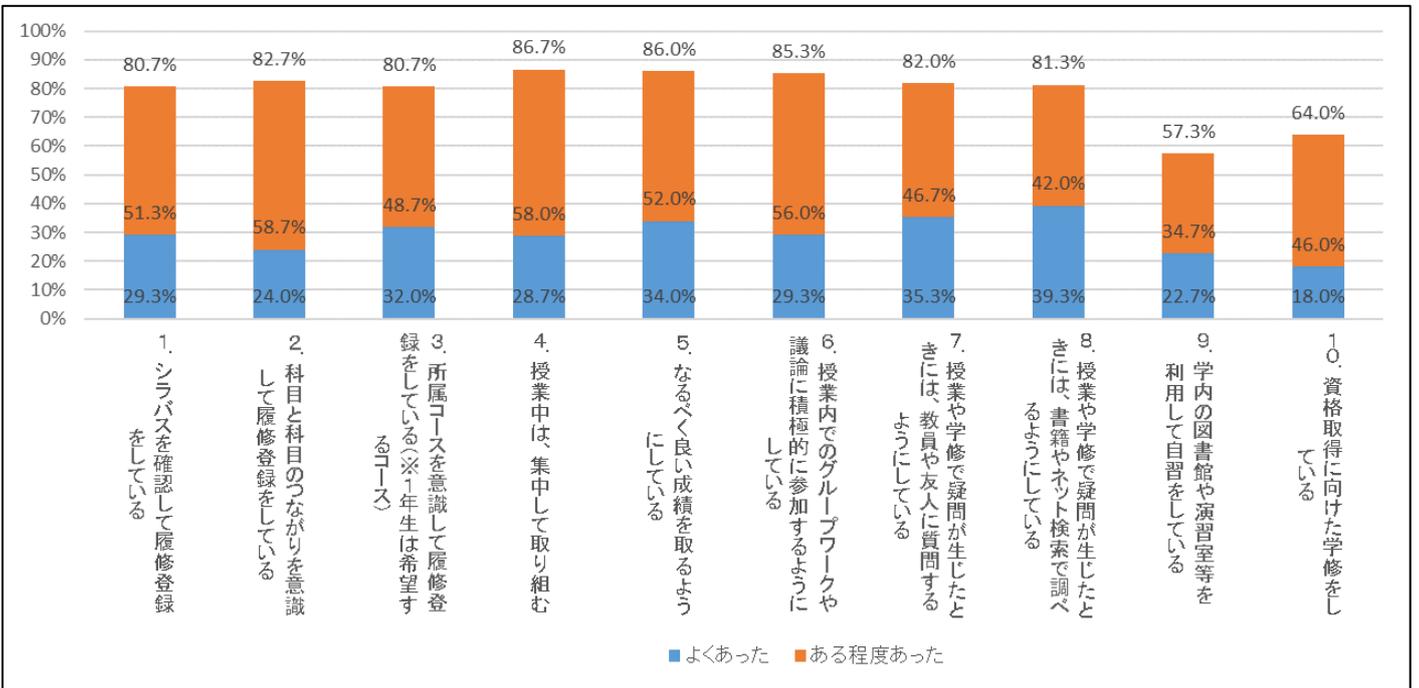
●授業、予習・復習、自主的な勉強を合わせた学修時間の合計は、1年生で27.8時間、2年生で26.4時間、3年生で18.4時間、4年生で16.1時間となっている。1、2年生においては、4学部で最も学修時間が長い。

●予習・復習時間の時間、資格取得のための自主的な学修時間ともに1年生が最も長い。

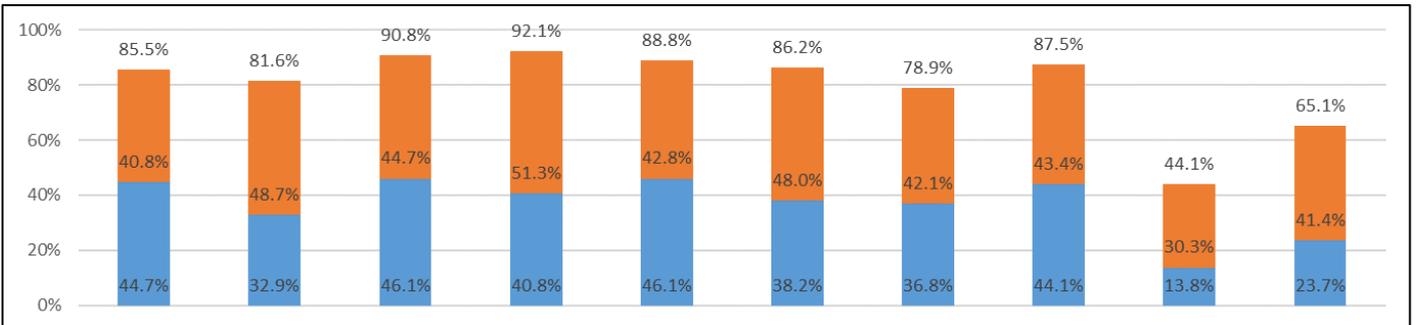
Q2. 「授業への参加や学修活動全般」について、どのように取り組みましたか。以下の各項目に該当する選択肢を選んでください。

各項目について「①よくあった」「②ある程度あった」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

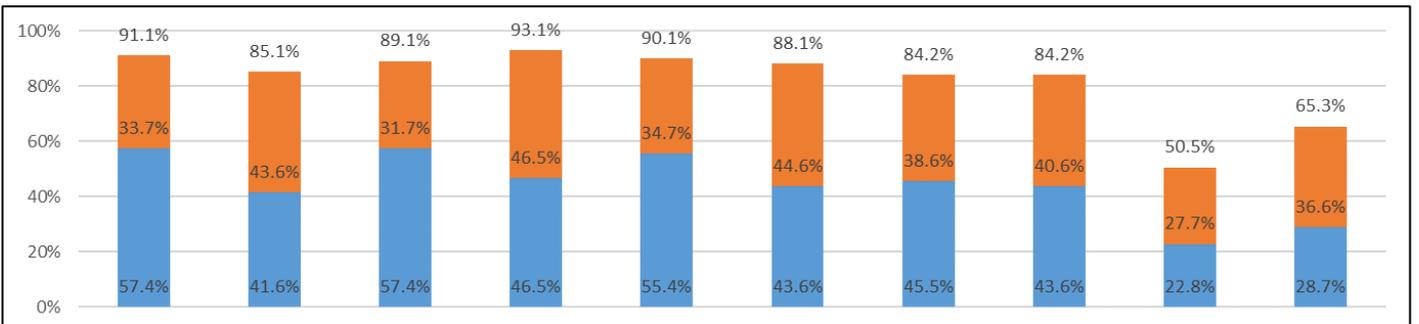
1年生



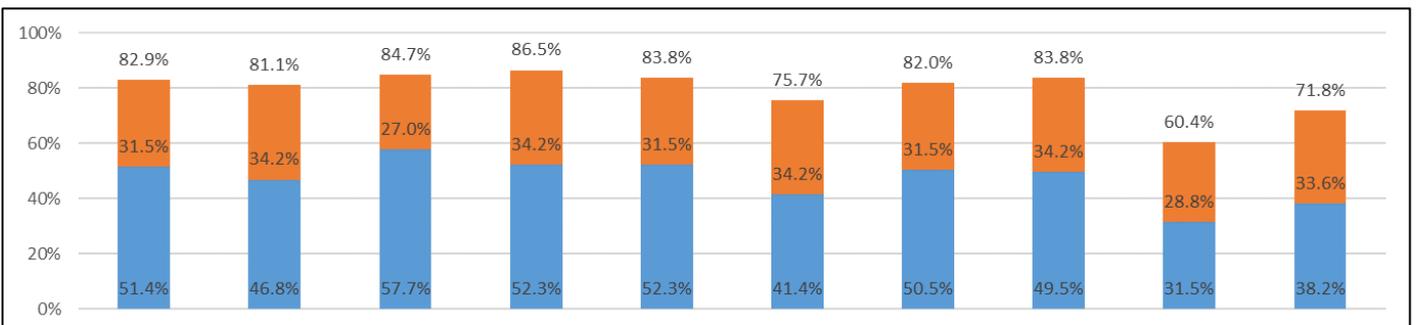
2年生



3年生



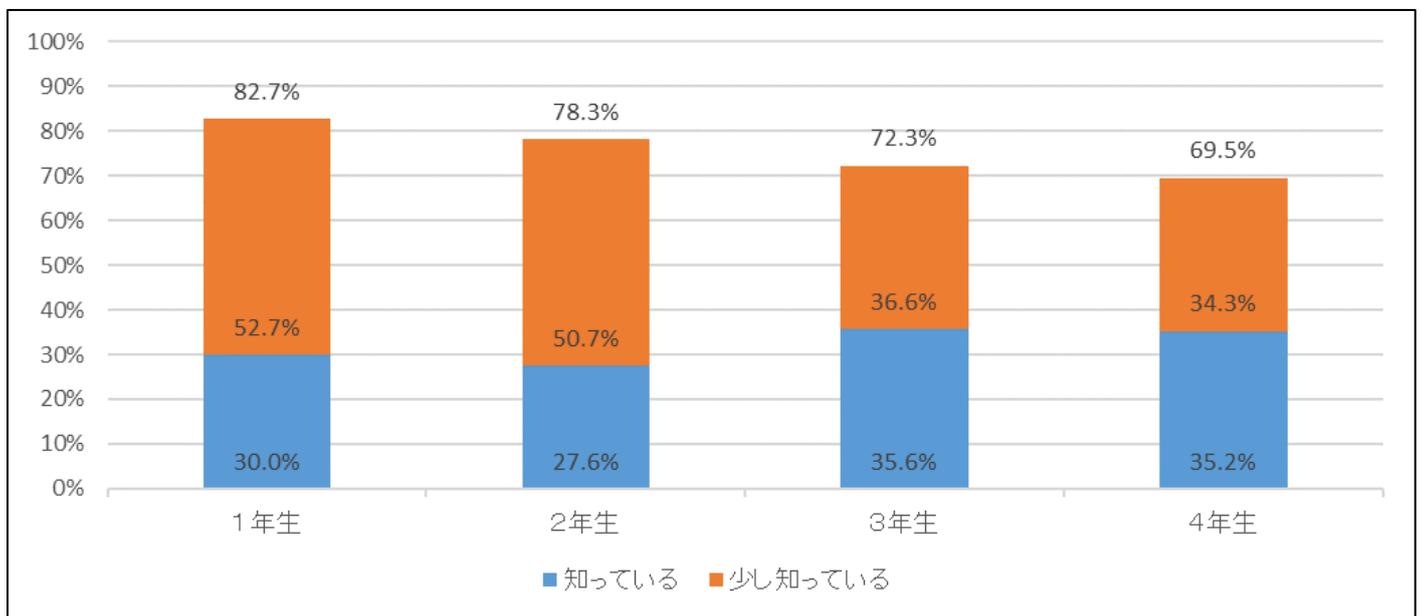
4年生



- 回答者のうち、「シラバスを確認して履修登録をしている」と回答した者の割合は、全学年で 80%を超え、中でも 3 年生が 91.1%と最も高い。
- 「科目と科目のつながりを意識して履修登録をしている」と回答した者の割合についても全学年で 80%を超え、中でも 3 年生が 85.1%と最も高い。
- 「所属コースを意識して履修登録をしている」と回答した学生は 2 年生の回答者のうち 90.8%、3 年生の回答者のうち 89.1%となった。
- 「資格取得に向けた学修をしている」と回答した学生の割合は全学年で 60%を超えている。

Q3. 自身が所属する学部の「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー) = “卒業にあたって身に付ける能力・資質”を知っていますか。

「①知っている」「②少し知っている」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

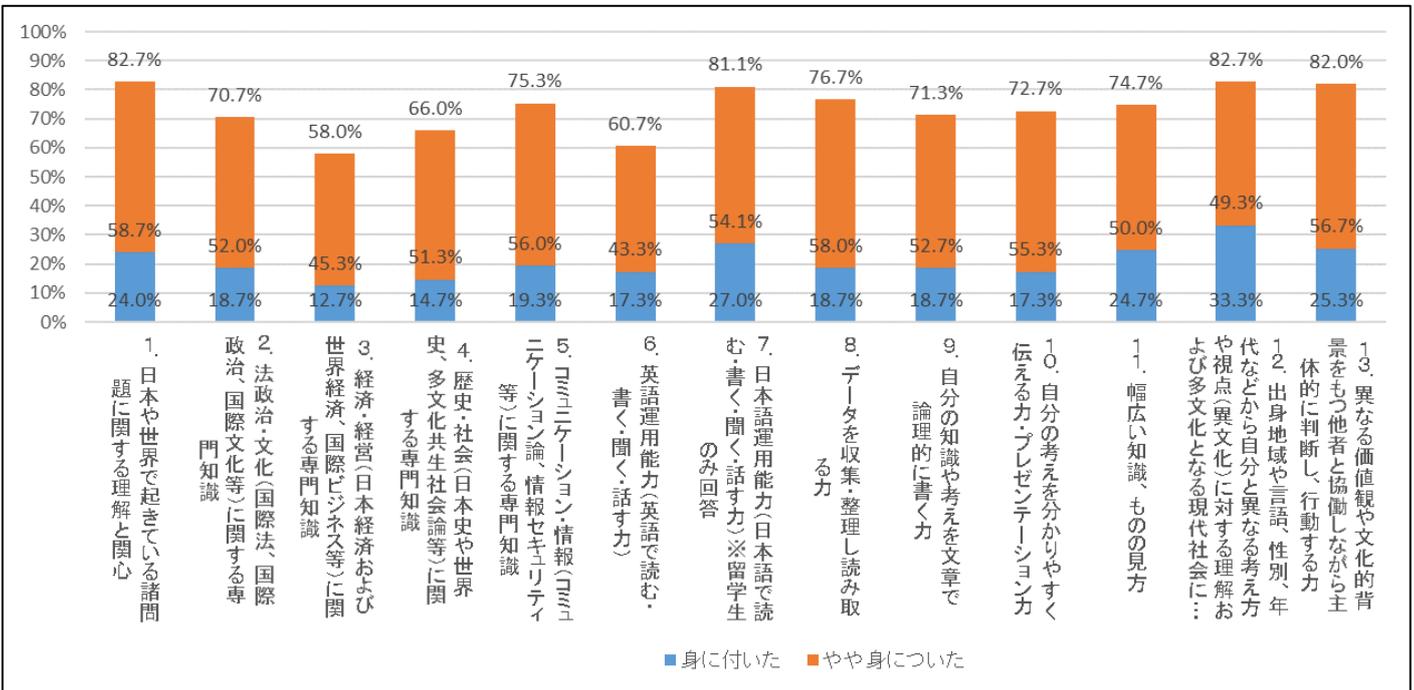


- 所属学部学科の DP を知っていると回答した者の割合は、1 年生が最も高く、回答者の 82.7%であった。

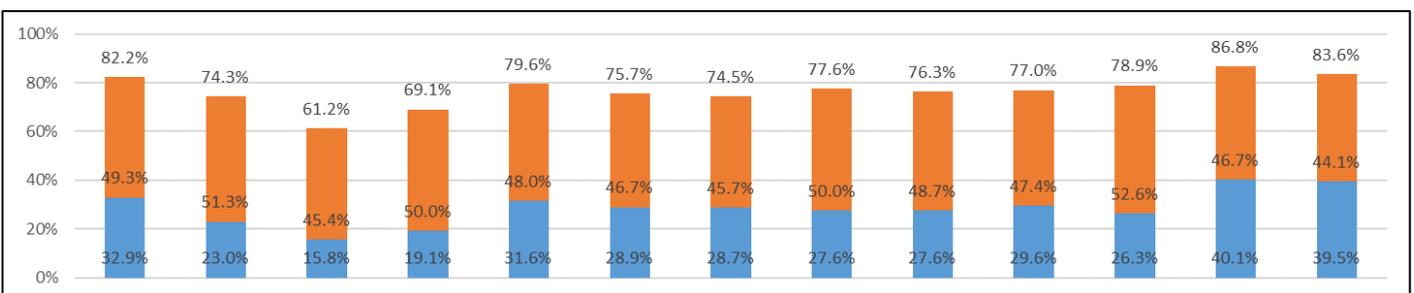
Q4. 以下の各項目について、大学入学後にどの程度身に付いたと思いますか。各項目に該当する選択肢を選んでください。

各項目について「①身に付いた」「②やや身に付いた」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。

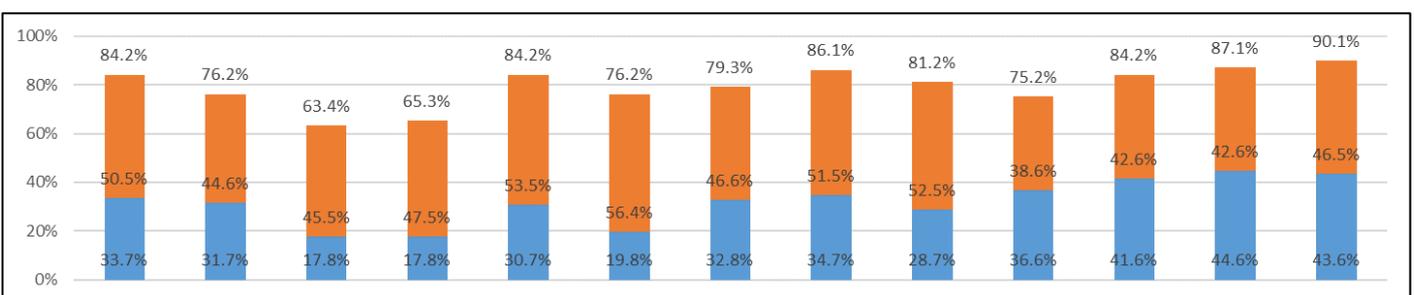
1年生



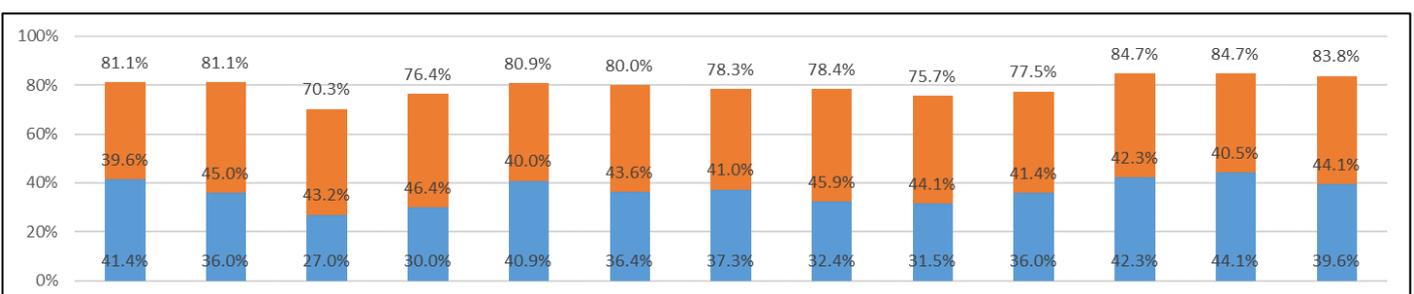
2年生



3年生



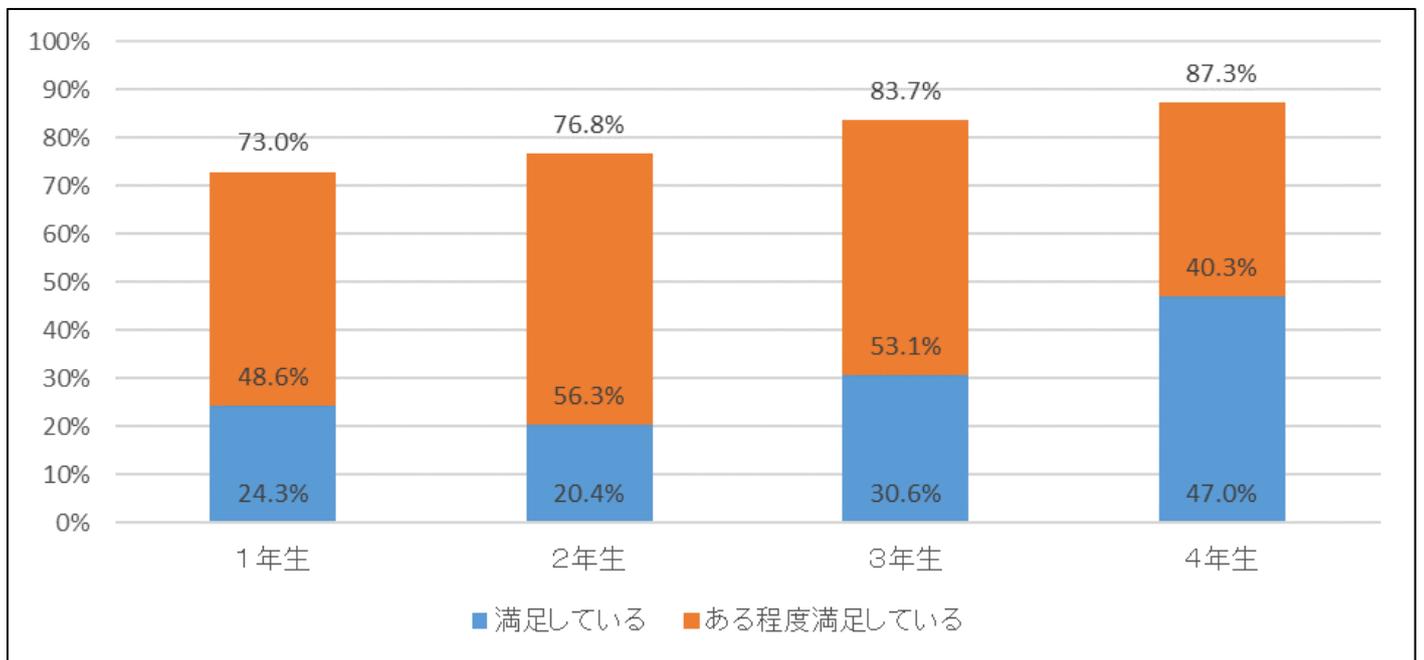
4年生



- 1年生で最も高い項目は「日本や世界で起きている諸問題に関する理解と関心」「出身地域や言語、性別、年代などから自分と異なる考え方や視点（異文化）に対する理解および多文化となる現代社会についての理解」が（同率1位）となった。
- 2年生で最も高い項目は「出身地域や言語、性別、年代などから自分と異なる考え方や視点（異文化）に対する理解および多文化となる現代社会についての理解」となった。
- 3年生で最も高い項目は「異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働しながら主体的に判断し、行動する力」となった。
- 4年生は13項目中7項目で「身に付いた」「やや身に付いた」の合計が80%以上となっている。

**Q5. 入学してからこれまでの自身の学修成果について、満足していますか。**

「①満足している」「②ある程度満足している」と回答した者の割合を学年ごとにグラフで表した。



- 自身の学修成果に満足している学生は、4年生では87.3%となった。

以上